資料１

魚津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（令和８年改訂版・抜粋）

❶魚津市人口ビジョンにおける将来人口の見通し

◎令和12年（2030年）には、36,000人程度
◎令和42年（2060年）には、21,000人から24,000人程度まで減少する見込み

❷目指すべき将来の方向（２つの観点）

・人口減少の進行の「緩和」

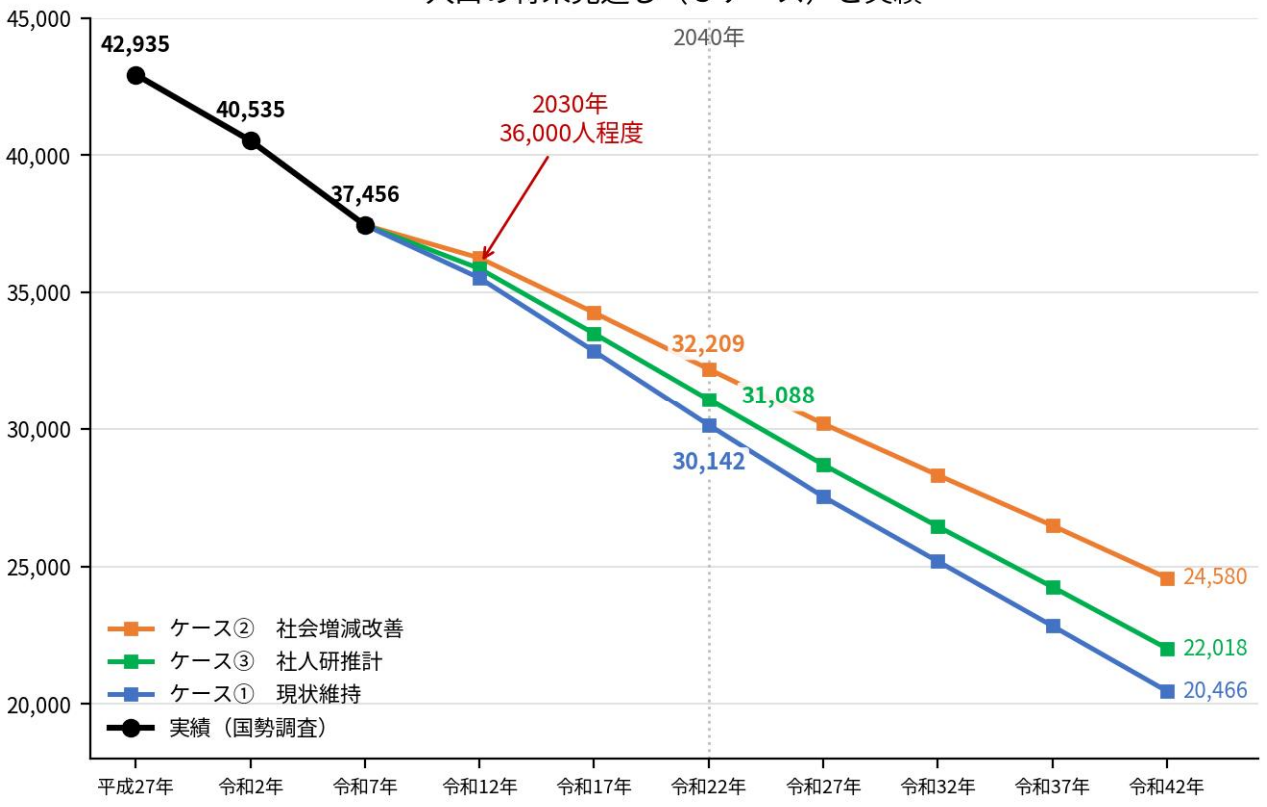
結婚や出産、子育ての希望をかなえるための環境の整備などの自然減対策と、若者や女性をはじめ多様な人材を惹きつける地域づくりなどの社会減対策の両面から、人口減少のスピードを「緩和」する。

・人口減少社会への「適応」

現在より少ない人口でも、一人ひとりが幸せを実感でき、心豊かに安心して住み続けられる地域を創るとともに、活力ある社会・経済を構築し、人口減少社会に「適応」する。

将来人口は３つのケース（①現状維持、②社会増減改善、③社人研推計）で試算しており、改訂前の人口ビジョンのような「目標人口」は設定していない。

人口の将来見通し（３ケース）と実績



※各ケースの2025年は令和７年国勢調査人口（37,456人）に合わせて表示（人口ビジョンの推計値は38,069～38,208人）

（１）　魚津市の人口動態状況について

○人口動態における人口について
国勢調査の人口を基準として毎月の自然動態、社会動態の増減により算出している。
R7.10.1以降はR7国勢調査確定値（37,456人）を基準としている。

①　人口ビジョンの人口の見通しとの比較

令和８年10月１日（未確定）、見通しを317人下回る。

資料：富山県人口移動調査

（単位：人）

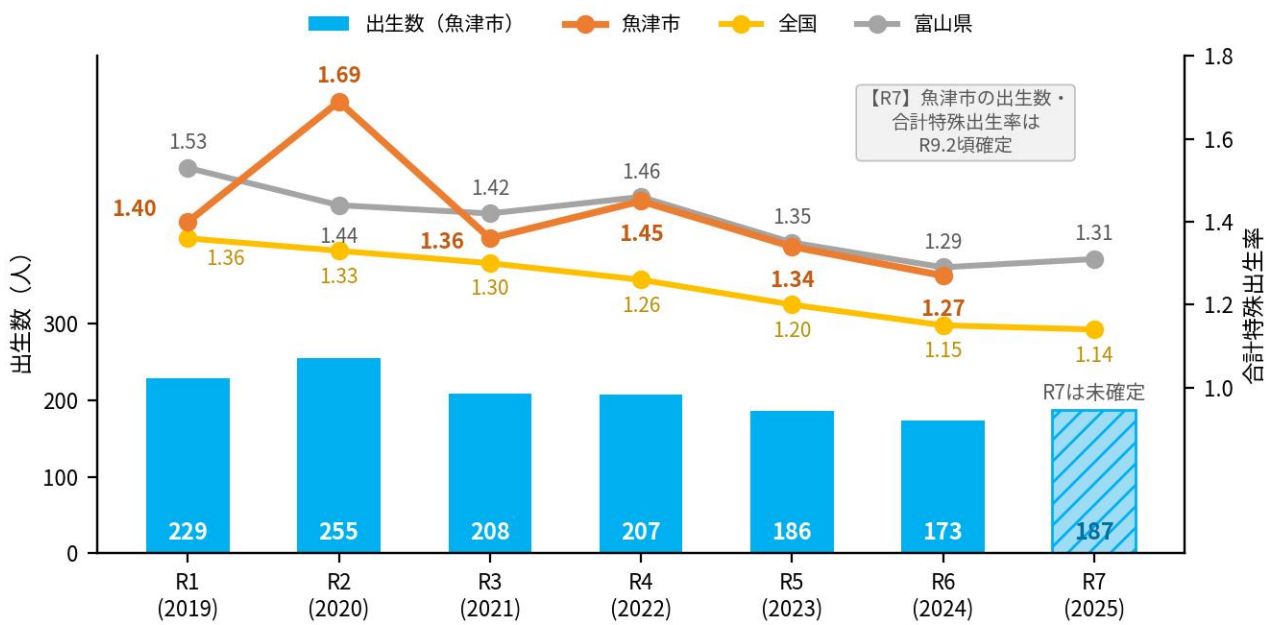
	令和８年（10.1時点）	令和９年（10.1時点）	令和10年（10.1時点）	令和11年（10.1時点）	令和12年（10.1時点）
見通し	37,165	36,874	36,582	36,291	36,000
実　績	36,848	—	—	—	—
差	△317	—	—	—	—

※見通しはR7.10.1国勢調査人口37,456人を基準に、R12の36,000人程度まで５等分したもの。実績はR8.10.1時点（未確定）。

②　出生数・合計特殊出生率（※）の推移

出生数は減少傾向で、合計特殊出生率は概ね県と全国の間にある。
（※）｛母の年齢別出生数÷年齢別女子人口｝
（15歳～49歳までの合計）

資料：健康センター作成



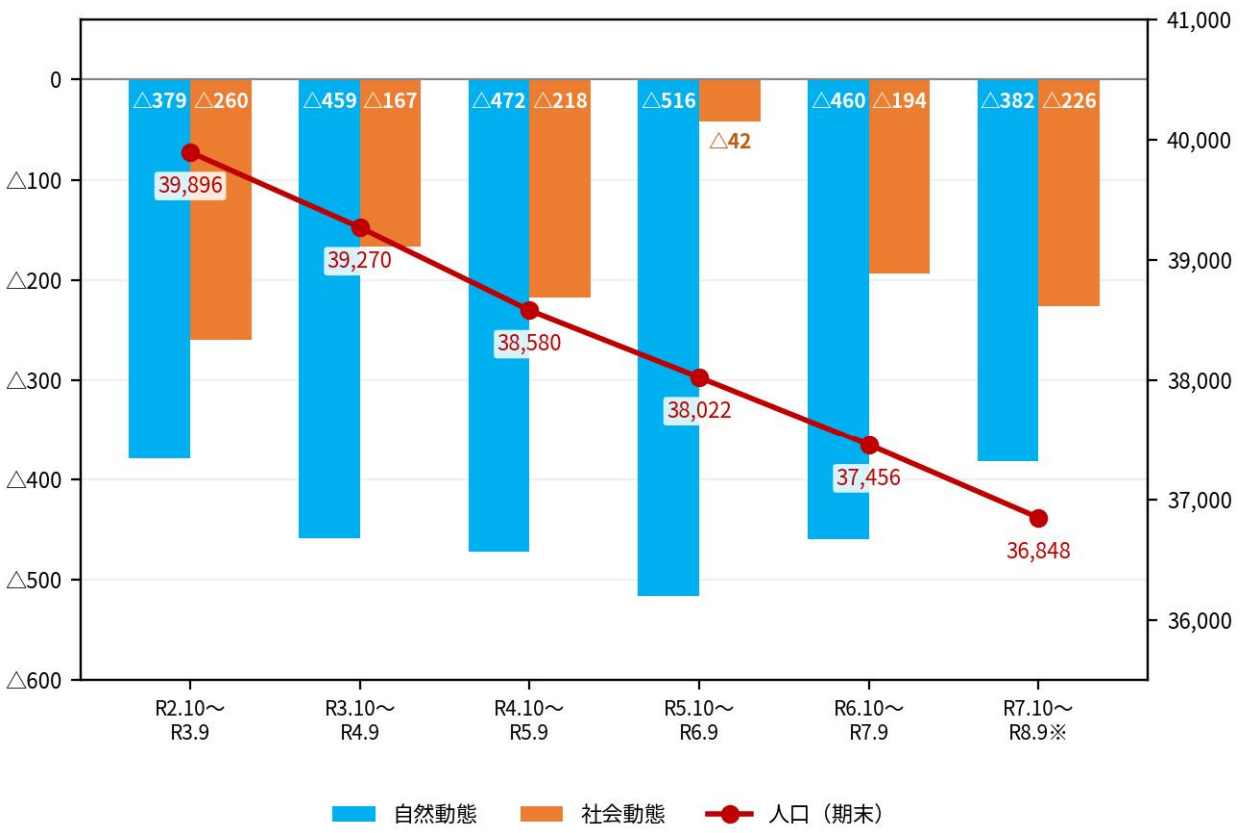
③　近年の魚津市の人口動態

自然動態、社会動態ともに減少し続けている。（R7.10.1は国勢調査確定値37,456人、R7.10～R8.9は未確定）

資料：富山県人口移動調査

（単位：人）

期間	自然動態	社会動態	計	人口
R2.10～R3.9	△379 （出生226　死亡605）	△260 （転入1,008　転出1,268）	△639	39,896 R3.10.1現在
R3.10～R4.9	△459 （出生214　死亡673）	△167 （転入1,157　転出1,324）	△626	39,270 R4.10.1現在
R4.10～R5.9	△472 （出生192　死亡664）	△218 （転入1,136　転出1,354）	△690	38,580 R5.10.1現在
R5.10～R6.9	△516 （出生180　死亡696）	△42 （転入1,170　転出1,212）	△558	38,022 R6.10.1現在
R6.10～R7.9	△460 （出生185　死亡645）	△194 （転入1,062　転出1,256）	△654	37,456 R7.10.1国勢調査
R7.10～R8.9 （未確定）	△382 （出生178　死亡560）	△226 （転入1,058　転出1,284）	△608	36,848 R8.10.1現在



※R7.10～R8.9は未確定（R8.9分は住民基本台帳人口統計表による）

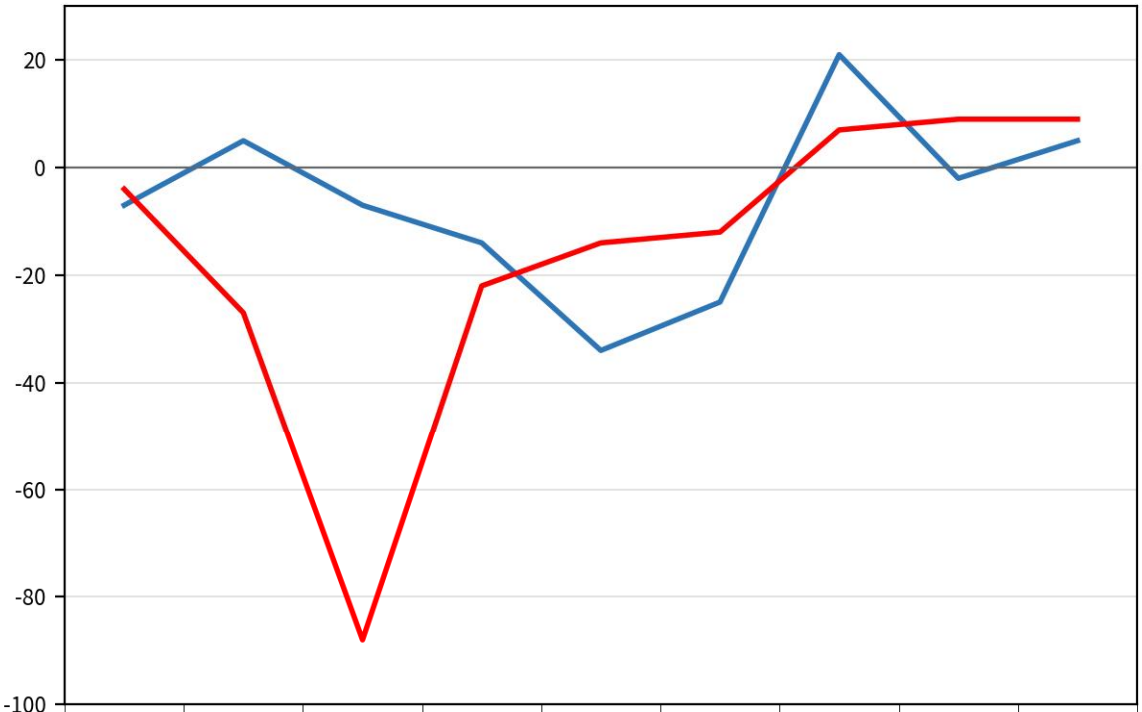
④　最近の年齢・男女別社会動態の傾向について

20～24歳の女性の転出超過（88人）が特に大きい。男性は30歳代の転出超過が大きい一方、40歳代は転入超過となっている。
うち県外では、15～24歳の女性の転出超過が97人。

資料：市民課住基台帳速報値

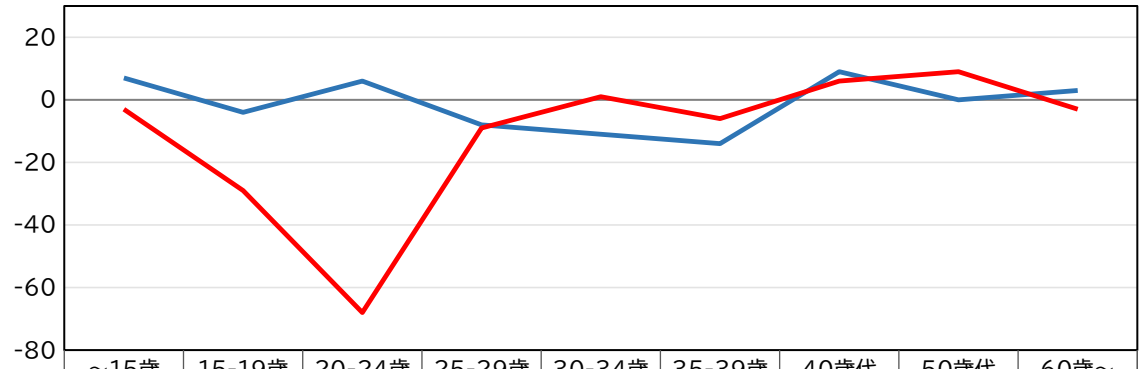
（単位：人）

R7.10～R8.8の年代・男女別社会動態（転入－転出）



	～15歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳代	50歳代	60歳～
男	-7	5	-7	-14	-34	-25	21	-2	5
女	-4	-27	-88	-22	-14	-12	7	9	9

うち県外分の年代・男女別社会動態（転入－転出）



	～15歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳代	50歳代	60歳～
男	7	-4	6	-8	-11	-14	9	0	3
女	-3	-29	-68	-9	1	-6	6	9	-3

資料：市民課住基台帳速報値（県外転出入累計）

⑤　転出入の状況（令和７年10月１日～令和８年８月31日）

県内では富山市、黒部市、滑川市間の移動が多い。転入と転出の差をみると富山市、滑川市への転出超過が顕著となっている。また、10名以上の転入超過は黒部市及び朝日町となっている。

県外への転出入は、転出超過となっており、関東（特に東京都）間の移動が多い。

資料：市民課住基台帳速報値　（単位：人）

１．魚津市への転入状況（前住所地）

月	計	県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
10月	79	42	37	13	2	0	15	1	0	0	0	0	0	0	2	2	2
11月	71	39	32	6	0	2	8	2	3	1	0	0	0	1	0	8	1
12月	74	31	43	19	2	2	12	0	0	0	3	0	0	0	0	4	1
1月	57	32	25	8	1	6	4	1	0	1	0	0	0	1	0	2	1
2月	64	26	38	9	3	4	10	4	0	1	1	0	0	0	0	5	1
3月	175	87	88	40	6	8	18	3	0	3	0	1	0	1	3	4	1
4月	134	95	39	16	4	0	8	4	0	1	1	0	0	1	1	2	1
5月	67	35	32	15	0	0	12	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0
6月	98	52	46	13	2	2	19	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8
7月	85	39	46	20	2	7	13	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0
8月	90	44	46	10	1	4	12	1	0	3	0	1	0	1	0	10	3
計	994	522	472	169	23	35	131	18	5	10	5	2	0	8	7	40	19

２．魚津市からの転出状況（新住所地）

月	計	県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
10月	92	34	58	27	4	7	8	1	0	1	2	0	2	0	1	5	0
11月	79	31	48	12	1	6	15	2	0	3	1	0	1	2	2	3	0
12月	96	55	41	15	1	9	10	0	1	1	0	0	0	0	0	3	1
1月	104	61	43	19	3	10	1	3	0	1	0	0	0	1	2	3	0
2月	87	41	46	14	1	13	10	2	0	0	0	0	0	2	4	0	0
3月	268	169	99	37	10	16	6	8	0	5	1	0	0	0	7	6	3
4月	129	68	61	21	0	2	12	8	1	5	1	0	0	0	1	6	4
5月	81	48	33	14	3	5	5	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
6月	92	50	42	26	0	1	11	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
7月	96	45	51	25	2	9	5	0	0	1	1	3	1	2	0	2	0
8月	70	34	36	9	2	7	14	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0
計	1,194	636	558	219	27	85	97	24	2	17	6	4	4	11	20	34	8

３．転入と転出の差（△は転出超過）

	計	県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
差	△200	△114	△86	△50	△4	△50	34	△6	3	△7	△1	△2	△4	△3	△13	6	11

４．県外の地域別の転入と転出の差（△は転出超過）

	県外計	東京都	関東（東京除く）	石川	福井	新潟	長野	中部	関西	北海道	東北	中国	四国	九州	国外
差	△114	△32	△76	△25	1	5	△2	△7	△25	4	△7	19	△1	3	29

※転出は市民課（住民基本台帳）報告数のため、富山県人口移動調査の転出数とは一致しない。

⑤－２　転入・転出者アンケートの結果（令和５～７年度）

転入・転出とも20～30歳代の単身者が中心で、移動の理由の５～６割は「仕事関係」である。転出者の約半数は魚津市に10年以上住んでいた人である。

資料：市民課アンケート調査（転入者・転出者）

回答者の特徴と主な回答（令和５～７年度の合計）

	項目	転入者（３年計 1,406件）	転出者（３年計 1,280件）	傾向
どんな人が	年齢	20代 49.2% 30代 22.2%	20代 45.6% 30代 21.2%	-
	世帯	単身世帯 55.0% その他　45.0%	単身世帯 44.3% その他　55.7%	-
なぜ・どう選んだか	移動の主な理由	仕事関係 58.9% 結婚 14.0%	仕事関係 55.3% 結婚 14.6%	「仕事関係」が５～６割
	選ぶ際に考慮した点	勤務地・学校に近い 42.8% 親・子の家と近い 18.6%	勤務地・学校に近い 41.9% 親・子の家と近い 13.0%	「勤務地・学校に近い」が約４割で最多
住まい・暮らし	居住期間	予定：２～５年 37.8% 10年以上 30.2%	実績：10年以上 47.8%	転出者の約半数が10年以上
	不安・要望	降雪時の生活 29.9% ２位は年度により異なる ・飲食店・娯楽施設 14%台 ・買い物などの場所 13.5%	住み続ける条件： 特になし 36.3% 商業施設の充実 13.8%	転入者は「降雪」に次いで商業環境の不安

アンケートから見える３つのポイント

1　仕事が移動の最大の理由

転入・転出とも「仕事関係」が５～６割。選ぶ決め手も「勤務地・学校に近い」が約４割で、職場と住まいの近さが居住地選びを左右している。

2　暮らしの不安は「雪」と「ゴミ出し」

転入者の不安は「降雪時の生活」が毎年約３割で最多。自由意見では「ゴミ捨て関係」が毎年最も多く寄せられている。

3　転出者の多くは不満による転出ではない

「もっと良ければ住み続けた」点は「特になし」が最多（36.3%）。自由意見の良かった点でも「とても住みやすく良いまちだった」が３年連続で最も多くなっている。

自由意見から（主な意見と件数、令和５～７年度の合計）

転入者の声

■魚津市を選んだ理由
「実家がある」23件、「会社の指定（転勤等）」22件
■転入後に知りたい・不安なこと
「ゴミ捨て関係」30件（毎年最多）
■前に住んでいた市町村の良かった制度
「ゴミの分別が楽・ゴミ袋の支給」13件
■市への要望
「ゴミ出しが面倒で分かりにくい」8件、「遊び場の充実」7件

転出者の声

■魚津市の良かった点
「とても住みやすく良いまちだった」70件（毎年最多）、「自然豊かで海・山の景観がいい」26件
■魚津市の悪かった点
「遊び場（公園・施設等）の充実」21件、「車がないと交通が不便」12件
■もっと良ければ住み続けた点
「土地・家賃の価格」7件、「給料の見合う求人」5件

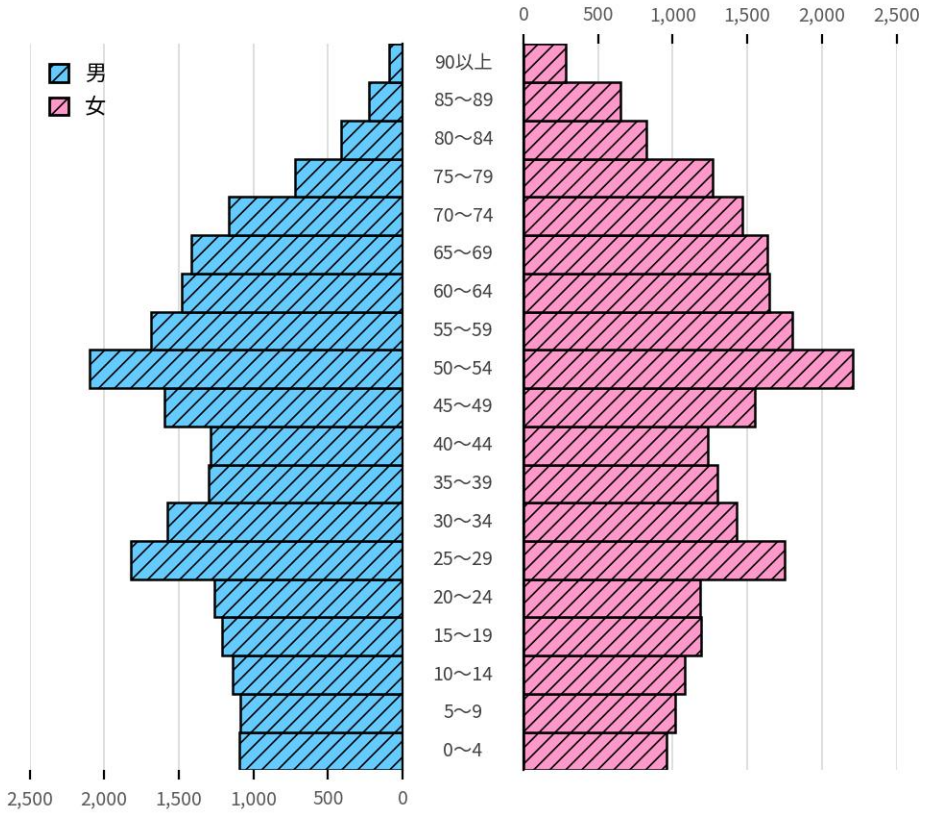
※回答数：転入者 R5 608件・R6 527件・R7 271件、転出者 R5 584件・R6 477件・R7 219件。割合は３年間の回答数に占める割合で、各年度とも上位に入った項目を掲載（転入者の不安の２位はR5・R7が「飲食店や娯楽施設」、R6が「買い物などの場所」）。自由意見の件数は件数の記載がある意見の３年間の合計。

⑥　人口ピラミッド

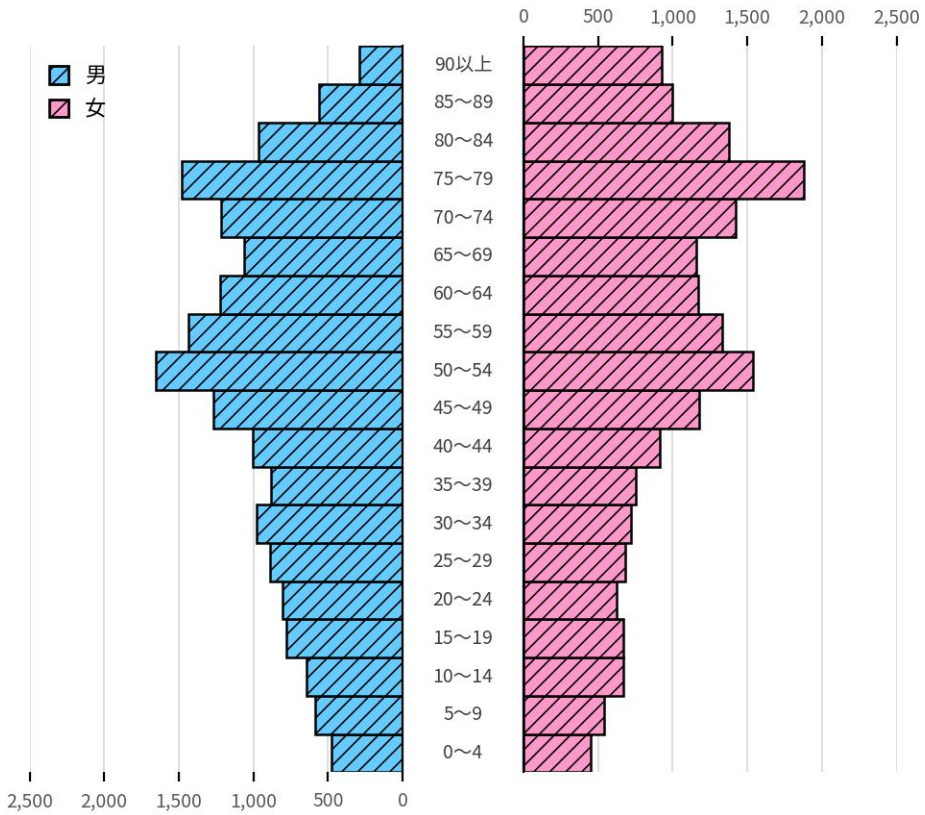
平成12年（25年前）と比較すると人口構造の高齢化が進んでいる。

資料：国勢調査（平成12年・令和７年、年齢不詳を除く）

平成12年　人口ピラミッド



令和７年　人口ピラミッド



⑦　県内市町村別の全人口と15歳未満の人口

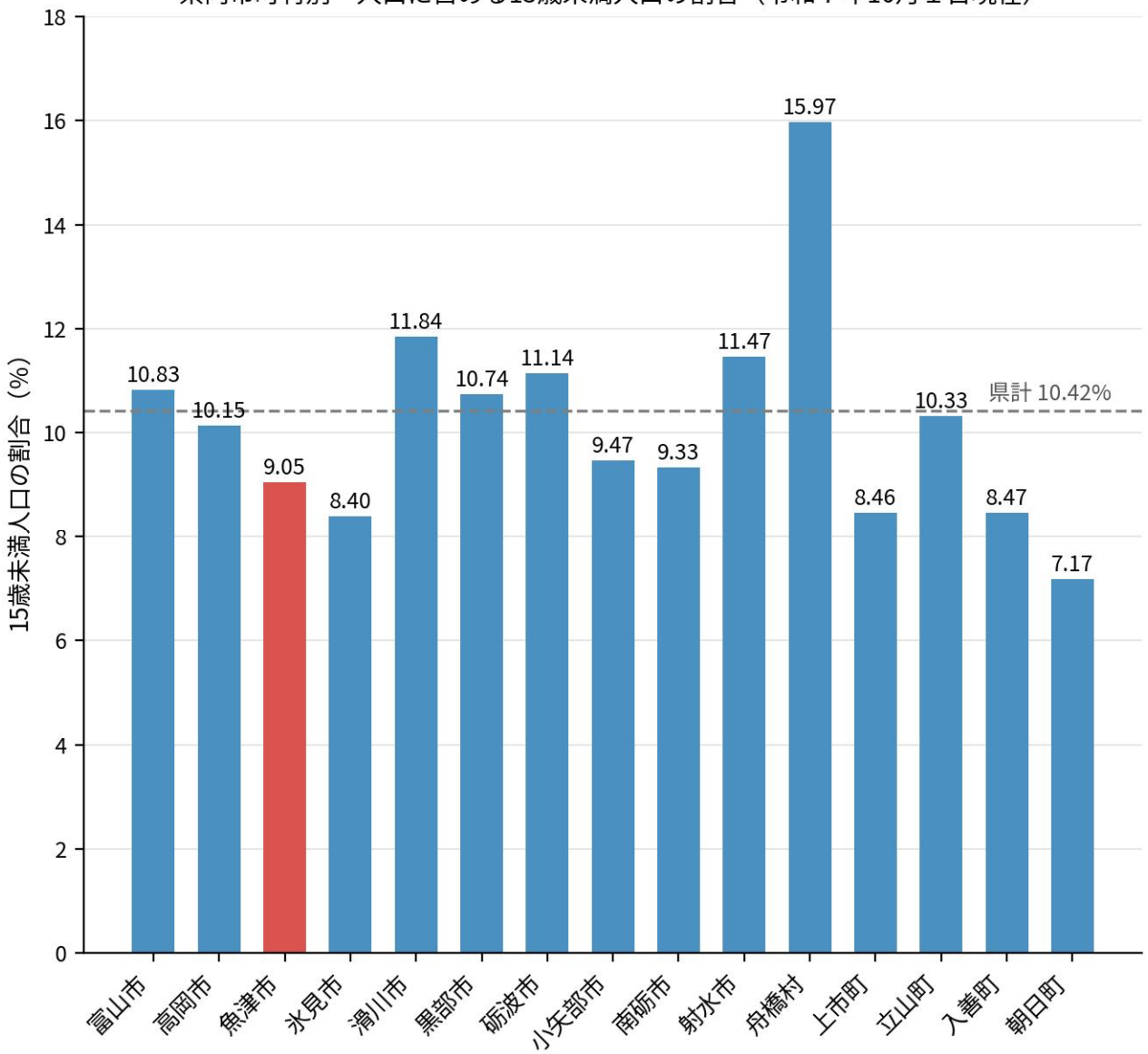
市全体の人口に占める15歳未満の割合は9.05%となっており、県計10.42%を下回り、県内15市町村中11番目と低い水準にある。

資料：令和７年国勢調査

	県計	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市
人口	982,147	399,197	158,431	37,456	39,087	31,317	37,599	45,783
15歳未満	101,115	42,744	15,504	3,365	3,282	3,671	4,037	5,049
割合(%)	10.42	10.83	10.15	9.05	8.40	11.84	10.74	11.14

	小矢部市	南砺市	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町
人口	26,653	43,916	87,615	3,274	17,697	23,215	21,340	9,567
15歳未満	2,519	4,084	9,961	521	1,494	2,395	1,803	686
割合(%)	9.47	9.33	11.47	15.97	8.46	10.33	8.47	7.17

県内市町村別　人口に占める15歳未満人口の割合（令和７年10月１日現在）



※割合は年齢不詳を除いて算出（国勢調査の人口構成比）

⑧　県内市町村別の全人口と65歳以上の人口

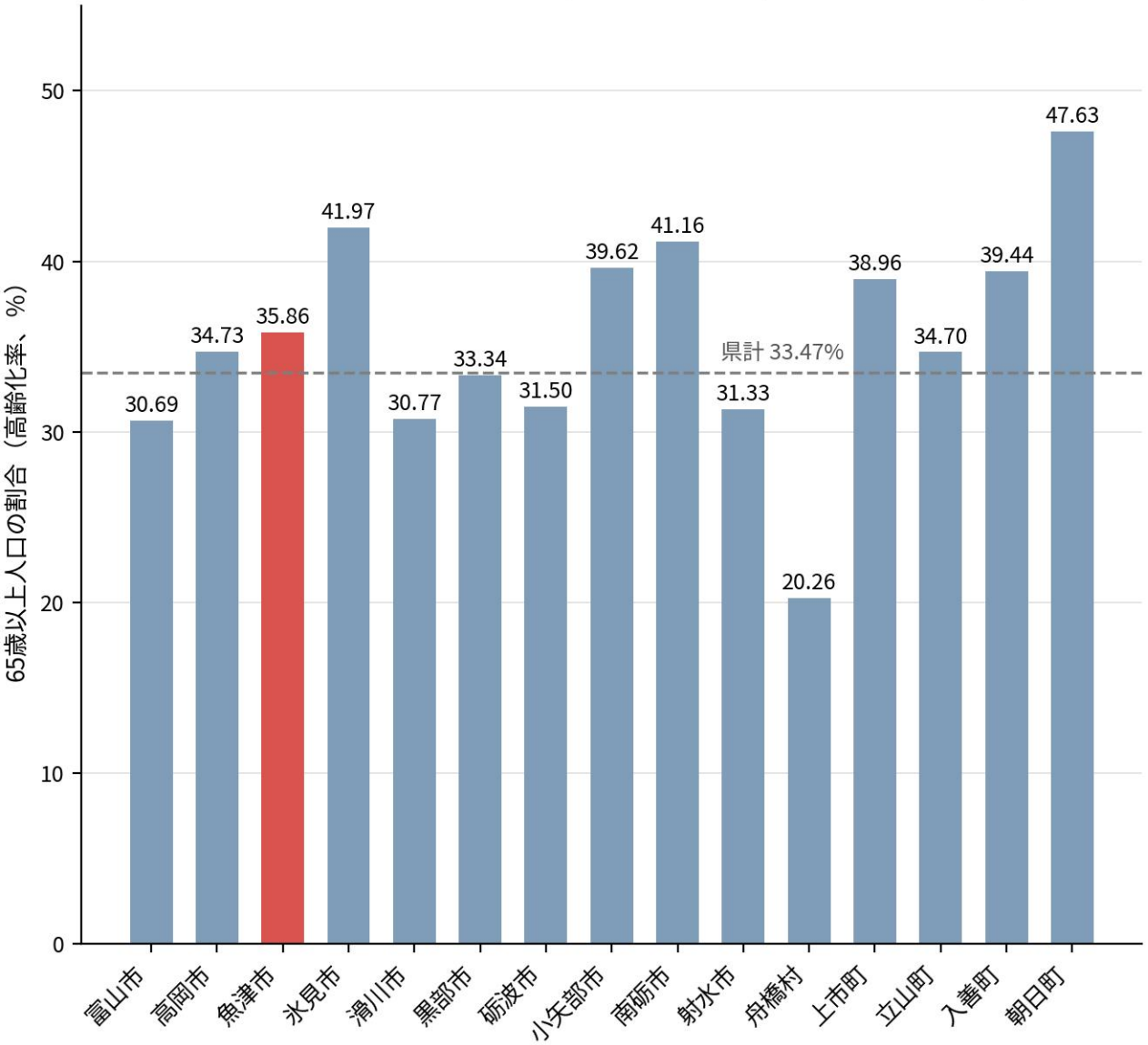
市全体の人口に占める65歳以上の割合は35.86%となっており、県計33.47%を上回り、県内15市町村中７番目に高い。

資料：令和７年国勢調査

	県計	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市
人口	982,147	399,197	158,431	37,456	39,087	31,317	37,599	45,783
65歳以上	324,662	121,170	53,079	13,335	16,406	9,538	12,535	14,278
割合(%)	33.47	30.69	34.73	35.86	41.97	30.77	33.34	31.50

	小矢部市	南砺市	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町
人口	26,653	43,916	87,615	3,274	17,697	23,215	21,340	9,567
65歳以上	10,537	18,021	27,223	661	6,877	8,050	8,395	4,557
割合(%)	39.62	41.16	31.33	20.26	38.96	34.70	39.44	47.63

県内市町村別　人口に占める65歳以上人口の割合（令和７年10月１日現在）



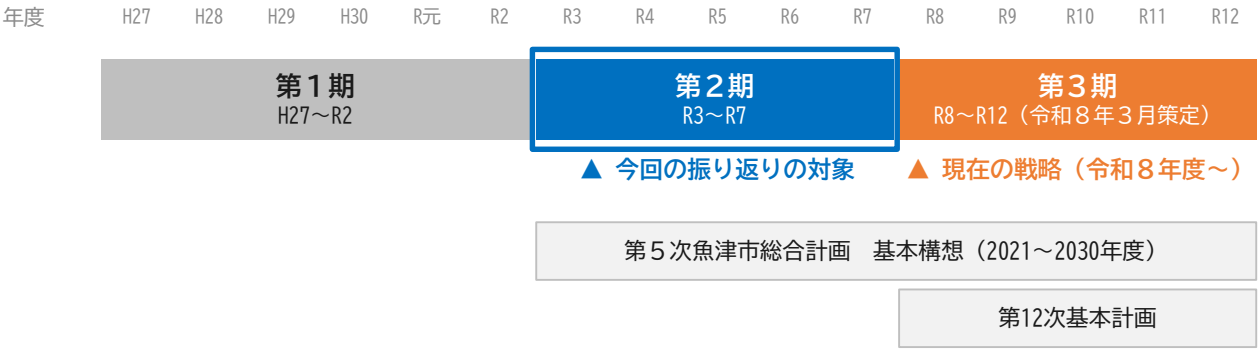
※割合は年齢不詳を除いて算出（国勢調査の人口構成比）

資料２

（２）第２期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況について

本資料は、令和３年度から令和７年度までを計画期間とする**「第２期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終評価（振り返り）**である。
なお、本市では令和８年３月に**「第３期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」**を策定し、令和８年度から第３期戦略に基づく取組を開始している。

１　総合戦略の計画期間



※第３期戦略は、総合計画と一体的に進捗管理を行うため、終期を第５次総合計画の終期（令和12年度）に合わせている。

２　今回の振り返りの内容

資料	項目	内容
資料１	魚津市の人口動態状況	人口ビジョン（令和８年改訂版）の見通しとの比較、近年の人口動態ほか（令和８年10月１日まで）
資料２①	数値目標・ＫＰＩの達成状況	第２期戦略の基本目標ごとの達成状況（令和３～７年度の５年間）
資料２②	数値目標・ＫＰＩの実績、主な事業	各指標の目標値と実績値（令和３～７年度）、第２期戦略の最終年度（令和７年度）に実施した主な事業の取組と成果、地方創生関係交付金事業の実施状況

※令和７年度実績のうち、算出前の指標（合計特殊出生率、健康寿命、年間商品販売額など）は、確定後に改めて報告する予定。

３　第３期総合戦略への引継ぎ

第２期戦略の振り返りの活用
・第２期の５年間の成果と課題を、第３期戦略の施策・事業の改善に活かす。
・第２期戦略の67事業のうち55事業は、名称変更や統合を含めて第３期戦略に引き継いでいる。

第３期戦略の主な特徴
・基本目標は第２期の４つの柱を引き継ぎ、基本目標４に「デジタル技術の活用」を明記。全ての基本目標に「ＤＸの推進」を施策として位置付け。
・事業は59事業（第２期からの継続54、新規５）。
・人口ビジョンは「目標人口」から「人口の見通し」に改め、「緩和」と「適応」の２つの観点で取り組む。
・第３期の数値目標・ＫＰＩは、令和８年度実績から本委員会で検証する。

① 総合戦略の基本目標ごとの数値目標、KPI達成状況（令和7年度時点）

基本目標		数値目標達成状況（達成数／項目数）					KPI達成状況（達成数／項目数）				
		R3	R4	R5	R6	R7	R3	R4	R5	R6	R7
1	魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします	0／3	2／3	0／3	2／3	0／3	2／6	0／6	3／6	2／6	1／6
2	にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります	0／3	0／3	1／3	0／3	0／3	4／9	3／9	2／9	2／9	2／9
3	安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します	0／2	0／2	0／2	0／2	0／1	1／3	1／4	1／4	2／4	1／4
4	活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します	3／3	3／3	3／3	2／2	1／2	3／4	3／4	2／4	1／4	3／4
計		3／11 (27.3%)	5／11 (45.5%)	4／11 (36.4%)	4／10 (40.0%)	1／9 (11.1%)	10／22 (45.5%)	7／23 (30.4%)	8／23 (34.8%)	7／23 (30.4%)	7／23 (30.4%)

※数値が未算出の項目（年間商品販売額（R4～R7）、合計特殊出生率（R7）、健康寿命（R6・R7））は母数から除いている。

※IoTプラットフォームアクセス数・子育て短期支援事業利用者数はR4からの指標のため、R3の項目数に含めていない。

※ICT機器の活用率は小学校・中学校とも、健康寿命は男女とも達成した場合に達成として計上。

②　基本目標ごとの数値目標及びKPIの実績、主な事業内容について

※ピンク＝目標達成

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします

数値目標

目標	基準値（　）は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
新規創業者数	11件（R元）	25	25	25	25	25
		8	21	16	25	19
年齢階級別純移動数（15～19歳と25～29歳の比較）	▲36人（H27）単位(人)	▲ 30	▲ 27	▲ 24	▲ 22	▲ 20
		▲ 70	1	▲ 25	12	▲ 32
有効求人倍率	1.5倍（R2）	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
		1.44	1.63	1.33	1.33	1.40

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
魚津市ふるさと寄附の件数	4,321件（R元）	14,000	20,000	24,000	28,000	32,000
		11,684	11,936	12,718	13,921	9,498
製造業の生産額	1,372 億円（H30）	1,375	1,376	1,377	1,379	1,380
		968	1,233	1,391	1,479	1,432
年間商品販売額	880 億円（H28）	900	900	900	900	900
		743	Ｒ８年度経済センサスの結果に基づきR9.5に算出			
市産材生産量	4,626 ㎥（R元）	4,626	4,858	5,101	5,356	5,623
		4,806	2,336	5,981	2,602	4,365
水産物取扱量	3,020 トン（R元）	3,050	3,100	3,150	3,200	3,250
		2,778	2,820	2,516	3,039	2,422
IoT プラットフォームアクセス数	令和 4 年度（新規事業）単位（件）	－	2,500	5,000	10,000	10,000
		－	825	19,457	18,135	8,114
電子地域通貨年間発行額	－単位（百万円）	200	450	700	950	1,200
		247	302	108	74	210

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

数値目標

目標	基準値（　）は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
観光入込数	1,536 千人（R元）	1,557	1,536	1,567	1,598	1,630
		923	1,235	1,289	1,315	1,384
延べ宿泊者数	310 千人（R元）	395	295	301	307	314
		190	219	227	263	267
人口動態における社会動態	▲179 人（R元）	▲ 145	▲ 110	▲ 75	▲ 40	±0
		▲ 167	▲ 218	▲ 42	▲ 194	▲226（未確定）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
県外からの移住者数	29人（R元）	30	35	40	45	50
		41	36	49	54	57
外国人延べ宿泊者数	13,503人（R元）	22,000	5,000	13,500	14,000	14,500
		1,113	739	6,314	11,173	13,585
新川地域宿泊者数	704千人（R元）	845	702	712	722	733
		395	529	600	653	657
観光消費額	73.0億円（R元）	74.2	73.0	77.0	81.0	85.0
		43.5	58.1	62.3	70.6	72.0
観光満足度	63.7%（R元）	64.5	64.8	65.2	65.6	68.0
		71.4	50.7	52.2	56.6	65.1
居住誘導区域内の居住人口密度	34人／ha（H27）	34	34	34	34	34
		34	34	32	31	32
経田漁港のボート上下架回数	660回／年（R元）	688	716	744	772	800
		751	838	823	955	967
スポーツイベントの参加者数	7,562人（R元）	7,610	7,658	7,706	7,754	7,800
		コロナにより中止	3,473	4,423	5,244	5,507
魚津市の出生数	238名（R元）	239	241	242	243	245
		208	207	186	173	187（未確定）

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

数値目標

目標	基準値（　）は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
合計特殊出生率	1.40（R元）	1.40	1.50	1.60	1.70	1.80
		1.36	1.45	1.34	1.27	R9.2算出
この地域で今後も子育てをしていきたいと思う親の割合（３歳児健診時）	96.0%（R元）	97.0	98.0	99.0	99.5	100.0
		96.8	94.3	94.2	96.5	96.2

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
子育て世代包括支援センター相談件数	2,314件（R元）	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		1,724	1,202	1,348	1,298	1,060
子育て支援センターの延べ利用者数	10,906人（R元）	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		7,453	4,958	6,630	6,372	7,426
子育て短期支援事業（ショートステイ事業）利用者数	令和４年度（新規事業）単位（人）	1	1	1	1	1
		－	0	0	1	0
ICT 機器の活用率	小学校55.2%（R元）	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0
		86.8	93.5	97.4	98.7	95.5
	中学校79.2%（R元）	97.0	92.0	93.0	94.0	95.0
		98.6	100.0	100.0	100.0	100.0

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

数値目標

目標	基準値（　）は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
市管理施設のＣＯ2 排出量	8,183t-CO･（R元）	8,020	7,940	7,861	7,782	7,704
		7,258	6,988	6,968	7,106	7,037
公共施設面積	187,139 ㎡（R元）	185,597	185,182	184,966	184,966	168,144
		184,973	182,311	178,510	173,071	173,916
健康寿命	男性 79.33 歳（H29）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加				
		79.14	79.70	79.29	R9.2頃	R10.2頃
	女性 84.63 歳（H29）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加				
		84.08	83.56	83.11	R9.2頃	R10.2頃

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
市民１人１日あたりのごみ排出量	847.8ｇ（R元）	831.0	823.0	814.0	806.0	798.0
		827.0	817.6	798.0	814.0	795.0
資源化率	18.8%（R元）	19.0	19.1	19.2	19.3	19.4
		18.8	19.2	19.0	18.6	19.5
文化財保存活用事業への年間延べ参加者数	1,289人（R元）	900	1,290	1,310	1,330	1,350
		901	926	1,045	1,112	1,098
成年後見制度利用者数	56件（R2.11月）	58	60	62	64	90
		71	80	88	81	92

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします

令和７年度（第２期戦略の最終年度）における主な事業

事業名	ふるさと寄附推進事業	事業費（千円）	551,738

【事業概要】
ふるさと寄附を通じて本市の魅力ある地域産品を全国に伝え、魚津ファンの獲得を図るとともに、地場産業の振興を図る。
企業版ふるさと納税制度を活用し、本市が実施する地域経済の活性化、地方創生事業について官民連携を図る。

【主な取組及び成果】
ふるさと寄附のお礼の品である「うおづくし」の品目について、令和６年度の922品から令和７年度は1030品へと充実を図った。
受付サイト等の数を令和７年度は28サイト（OEM含む）に増やした。
たてもん祭りをテーマとしたガバメントクラウドファンディングの実施、転換率向上のため寄附受け付けページの充実、メルマガ配信、商品画像の魅力化などを行った。

■ＫＰＩ（再掲）　魚津市ふるさと寄附の件数　［基準値：4,321件（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	14,000	20,000	24,000	28,000	32,000	
実績	11,684	11,936	12,718	13,921	9,498	未達成

■事業の成果指標（参考）　ふるさと寄附金額（単位：千円）

	R3	R4	R5	R6	R7	
実績	424,528	478,939	745,632	1,179,196	1,376,111	

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします

事業名	関係人口創出・拡大事業	事業費（千円）	4,850

【事業概要】
　地域資源を活用した魚津ならではのワーケーション等を推進し、地域外の方が地域住民との交流により関係性を深め、多様な取組を行いながら地域活性を目指す。

【各事業参加状況】
・魚津まっつり応援団（市外在住者による魚津祭り運営支援）　55人参加
・魚津まっつり応援団GCF　32人寄附
・うおづ親子第2のふるさとづくりPJ（星の杜小学校体験入学）　4名参加
・博物館ワーケーション（水族館等での体験会）　27人参加
・魚津市一次産業ワーケーション（農業など地域活動への参加）　38名参加
・首都圏在住者向け広報イベント　65名参加

　参加者の多くは、県内外から上記事業をきっかけとして来市され、その後、何度も本市を訪問し地域住民らとの交流も深めるなど、本市の関係人口となっていただいている。地域住民にとっても、市外の方の視点により、本市が持つ魅力（地域資源）を再認識し、シビックプライド向上につながっている。

事業名	スマート農業推進事業	事業費（千円）	2,016

【事業概要】
　農業従事者の高齢化、担い手不足を解消するため、デジタル技術を活用した農作業の負担軽減を目指す。

【主な取組及び成果】
《農地管理効率化事業》
畔の草刈り等の負担軽減を図るため、市内農業者（認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織等）を対象に、２組の農業経営体に対して、担い手応援！農地管理効率化事業費補助金を交付した。

本事業を通じて、農作業等に使用する農業用ラジコン草刈り機等の活用を促すことで、農業の省力化・効率化を図り、農地の利用集積や経営規模の拡大等を推進した。

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします

事業名	６次産業化・地産地消事業	事業費（千円）	611

【事業概要】
地域の特産物を生産者だけでなく商工業者などが地域ぐるみで連携を図り、魅力ある商品やサービスの開発を行うことにより、農林水産物の価値を高め、６次産業化や地産地消を推進する。

【主な取組及び成果】
《魚津の果樹応援事業》
〇市内小学生の親子3家族6名を対象にした「うおづのくだもの親子体験会」を実施した。
〇将来パティシエや料理人を目指す富山調理製菓専門学校の学生を対象にした収穫体験会を開催した。
《６次産業化うおづの魅力発信事業》
〇農林水産業の更なる振興のため、第２期魚津市6次産業化等推進戦略を令和７年４月に改定した。
〇市内団体（１団体）が取り組む加工品（魚津市の果樹を使用した菓子）の開発にかかる資材の購入や販路開拓等に対して、支援を実施した。

事業名	森林経営管理事業	事業費（千円）	22,661

【事業概要】
地元産木材を利用し、公共施設の木質化を推進するとともに、木材産業及び地域の活性化を図る。

【主な取組及び成果】
令和７年度は、坪野地内において、森林整備（2.39ha）を実施した。

■ＫＰＩ（再掲）　市産材生産量　［基準値：4,626 ㎥（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	4,626	4,858	5,101	5,356	5,623	
実績	4,806	2,336	5,981	2,602	4,365	未達成

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします

事業名	漁業振興・栽培増殖振興対策事業	事業費（千円）	56,998

【事業概要】
　魚介類の安定供給や漁業所得の向上を図るため、養殖事業の取組を推進する。

【主な取組及び成果】
《漁業振興事業》
漁業活性化の為、魚価の向上、６次産業化、安全性と品質確保、地産地消の推進、地域資源の商品化等の事業を行っている漁協に対し支援助成を行った。漁協の選別加工機械の導入に対し補助金を活用して支援を実施した。
《栽培増殖振興対策事業》
富山県氷見栽培漁業センターで生産されたヒラメ、クロダイ、クルマエビの種苗放流を行ってきたが、クルマエビの放流は効果がみられなかったため中止した。
令和７年度は、にいかわ地区の漁協が連携し、日本財団の支援を得てガゴメコンブ等の海藻養殖試験、海藻メニューの開発・効能分析、周知PRに取り組んだ。その他多様な魚種の増殖を目指し、引き続きキジハタの放流等も検討している。

■ＫＰＩ（再掲）　水産物取扱量　［基準値：3,020 トン（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	3,050	3,100	3,150	3,200	3,250	
実績	2,778	2,820	2,516	3,039	2,422	未達成

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします

事業名	創業者支援事業	事業費（千円）	12,820

【事業概要】
市内における新規創業に必要な初期費用を支援する。
（改装助成金、奨励金、貸店舗賃助成金：40歳未満、女性、UIJターン加算あり）

【主な取組及び成果】
○「40歳未満」「特定創業支援等事業の被支援者」に対する助成金を加算し、新規創業者に対する助成を行った
・改装費助成 10件 9,064千円
（うち、40歳未満加算６件）
・奨励金 ９件 1,800千円
（うち、40歳未満加算３件、女性加算２件）
○新規創業者の知名度不足を解消し、ビジネスマッチングを図るため、創業者交流会を開催した。（10月10日、参加者６人）
○魚津市創業支援事業者連絡会議を開催し、新規創業支援や伴走型支援についての意見交換を実施した。（10月28日）
○魚津市事業承継推進補助金 申請２件 1,330千円

■数値目標（再掲） 新規創業者数 ［基準値：11件（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	25	25	25	25	25	
実績	8	21	16	25	19	未達成

事業名	企業誘致推進事業	事業費（千円）	8,606

【事業概要】
企業誘致のための営業活動及びサテライトオフィス設置誘致に関する調査業務を実施。市内外の産学官金が連携して構成する「魚津市企業誘致推進協議会」を中心に、様々な団体等からご意見や提案をいただきながら、ゲーム産業の誘致はもとよりサテライトオフィスや大規模企業等、様々な企業を対象とした企業誘致活動等を行っていく。

【主な取組及び成果】
民間主催のマッチングイベントに参加した。
サテライトオフィス誘致事業企業アポイントメント業務フォローアップ事業を実施した。（オンライン面談11社、東京セミナー（10/29）現地視察（11/25～26）（1/22～23））
トライアルオフィス(necco)の利用実績は、利用企業２社、利用月数のべ15月。

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします

事業名	スマートシティ推進事業	事業費（千円）	9,631

【事業概要】
　まちの事象をデータから把握するための環境を作り、データに基づいた活動を行う個人・企業を増やすことで、雇用拡大と持続的に成長できる企業を創出し、定住・関係人口の創出を図る。

【主な取組及び成果】
センサーを活用した通学路安全対策事業を行った。
対象校
星の杜小学校・清流小学校：76人

■ＫＰＩ（再掲）　IoT プラットフォームアクセス数　［基準値：令和 4 年度（新規事業）単位（件）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	－	2,500	5,000	10,000	10,000	
実績	－	825	19,457	18,135	8,114	未達成

事業名	電子地域通貨事業	事業費（千円）	62,069

【事業概要】
　地域内での経済循環や地域活動の活性を図るため、キャッシュレス決済システム”電子地域通貨MiraPay”を運営。
　　今後の更なる利便性の向上を目指し、アプリ登録者や参加店舗数を増やすための様々なキャンペーン事業等を実施し、普及促進を図るとともに、集積したデータの分析を行い加盟店へ情報提供を行う。

【主な取組及び成果】
・R7.4～R7.8（旧MiraPay）
【コイン活用事業】
■協賛コイン 51,000円
■MiraPayチャージキャンペーン（１％コイン還元）
チャージ額 8,970,784円 コイン還元額 89,709コイン
■子育て新婚世帯移住助成金 2,856,000円
・R7.9～R8.3（TOYAMA ONE Wallet参画）
■新アプリ移行促進キャンペーン
（１等：10,000円相当ミラペイ２名、２等：1,000円相当ミラペイ３名、３等：200円相当ミラペイ85名）
■マネー決済額の1%を即時ポイント還元 101,608円

■ＫＰＩ（再掲）　電子地域通貨年間発行額　［基準値：－単位（百万円）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	200	450	700	950	1,200	
実績	247	302	108	74	210	未達成

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性に働く場として選択されるまちにします

事業名	まちづくり会社支援事業	事業費（千円）	40,770

【事業概要】
　コロナ禍からの駅前等の賑わいの減少や、観光客の伸び悩みなどの課題に対応するため、まちづくりと観光振興の舵取り役として設立する「魚津観光まちづくり株式会社」の運営等の支援を行う。（地域おこし協力隊、地域活性化起業人の活用）

【主な取組及び成果】
・事業者からの各種相談の窓口とコワーキング、セミナースペース「魚津BASE」を開設
・産業観光ツアー（8/22）27名参加
・“超実践型”職場で活かせる生成AIセミナー（3/6）35名参加
・誘致（出展）営業活動

事業名	女性活躍社会推進事業	事業費（千円）	500

【事業概要】
　商工会議所等と連携し、女性をはじめ誰もが活躍できる領域を増やす機運を醸成する。

【主な取組及び成果】
（事業の内容）
スマートフォン等を使った効果的な撮影技術を実践的に学んでもらうため、「撮影のプロ直伝仕事ですぐに使える写真術」と題し、令和８年２月２０日に、魚津水族館を会場として、スキルアップセミナーを開催した。講師に、現役記者として活躍している株式会社北日本新聞社 新川支社 編集部の椎名哲平氏と、ＮＨＫ「イナガキヤスト“絶景建築”を撮る」での番組出演をはじめ、富山県内のフォトアンバサダーを務めるフォトグラファーのイナガキヤスト氏を招き、座学と実践の２部構成で実施した。当日は、市内の事業者等20名（定員による満席）が参加し、貴重な講義と直接指導を受け、満足度の高いセミナーとなった。

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

令和７年度（第２期戦略の最終年度）における主な事業

事業名	経田漁港整備事業	事業費（千円）	119,770

【事業概要】
　漁港施設・マリーナ施設の整備や機能保全を計画的に実施することで、施設利用者及び交流人口が増加し、漁業と海洋レクリエーションの融合による地域活性化を図る。

【主な取組及び成果】
港整備交付金を活用してプレジャーボート用の浮桟橋の損傷を防止するため港口部に波除堤（Ｌ＝約30.0m）を新設した。又、老朽化したプレジャーボート用の上下架施設の改修工事に着手した。
「機能保全事業基本計画」に基づき、経田漁港施設の長寿命化の工事を実施している。令和７年度は、泊地及び航路の浚渫工事及び岸壁の調査を実施した。

■ＫＰＩ（再掲）　経田漁港のボート上下架回数　［基準値：660回／年（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	688	716	744	772	800	
実績	751	838	823	955	967	**達成**

事業名	うおづスポーツコミッション事業	事業費（千円）	10,053

【事業概要】
　本市のスポーツ資源を活用し、スポーツ大会や合宿、イベントを観光、産業等の地域資源と結び付け、市民との交流や関係人口の増加等による地域活性化を目指すため、官民が一体となった取組を推進する。

【主な取組及び成果】
・市民スポーツ大会事業補助
・市民スポーツ大会運営及び県民スポーツ大会選手派遣業務
・しんきろうマラソン補助
・全日本大学女子野球選手権大会補助
・パナソニックスポーツクリニック開催（６月バレーボール、７月ラグビー、10月野球）
・トランスジャパンアルプスレース事業（講演会開催）

■ＫＰＩ（再掲）　スポーツイベントの参加者数　［基準値：7,562人（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	7,610	7,658	7,706	7,754	7,800	
実績	コロナにより中止	3,473	4,423	5,244	5,507	未達成

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	定住促進事業	事業費（千円）	7,912

【事業概要】
　魚津市の住みよさを様々な媒体を活用しながら県内外に向けて情報発信を行い、移住者や移住希望者に対するサポート体制を充実させ、魚津市の人口増加を目指す。

【主な取組及び成果】
・移住定住促進施策の調査研究、企画・立案
・移住・定住対策の庁内調整
・移住定住情報等の発信
・移住・定住相談、移住・定住者へのサポート
・移住者交流会の実施
・移住相談窓口相談件数 36件　（R7年度：窓口経由の移住者＝57名）
・魚津市子育て新婚世帯移住助成金 53件 計5,500千円
・魚津市新婚ライフわくわく応援事業 計244千円 １件申請

・お試し移住住宅（４室）合計 10名使用。
道下団地（１室）：移住希望者（地域おこし協力隊員含む）２名が使用。
天王団地（３室）：移住希望者（地域おこし協力隊員を含む）、ふるさとワーキングホリデーなど事業参加者・計８名が使用。

　本市への移住を検討している方に対し、職員が丁寧に本市の紹介や住みやすさなどについて機を捉えて情報をお届けしている。県外での移住フェア等では、本市を知らなかった方へのアプローチも積極的に行っている。

■ＫＰＩ（再掲）　県外からの移住者数　［基準値：29人（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	30	35	40	45	50	
実績	41	36	49	54	57	**達成**

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	婚活支援事業	事業費（千円）	1,173

【事業概要】
結婚支援機関「うおづマリッジサポート」登録者の結婚支援や市内独身男女の結婚に対する意識向上を図り、結婚、妊娠、出産を経て人口減少の抑制に繋げる。

【主な取組及び成果】
魚津市、滑川市、黒部市の３市が連携して婚活イベントを３回実施した。参加者にはイベント直前に男女分かれてミニセミナーを実施し、１組でも多くのカップルが成立するように後押しをした。
①７月５日（土） ナイトアクアリウムパーティー（52名参加）
②９月28日（日） モ～っと恋しよ！BBQパーティー（40名参加）
③11月15日（土） 恋活♡謎解きミュージアム（29名参加）
また、令和７年度から官民連携結婚サポート事業として、黒部結婚相談所と連携し、結婚相談所に係る初期費用と月会費最長３か月分の優待クーポン券を交付し、結婚を希望する方への婚活をサポートした。（令和７年度登録者数６名）
なお、うおづマリッジサポート事業は、会員数が非常に少なく、マッチングさせることが困難になったため、関係各所に事情を説明し、令和７年度の協賛期間をもって本事業は廃止することとした。

事業名	住宅取得支援事業	事業費（千円）	37,000

【事業概要】
子育て新婚世帯の定住を促進するため、市内での住宅取得に対する支援を行う。

【主な取組及び成果】
子育て新婚世帯（74世帯）の住宅取得者に対し、住宅取得に要する費用の一部の支援を行った。これらの補助対象者の内、市外からの転入は、14世帯である。

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	観光物産宣伝事業	事業費（千円）	12,358

【事業概要】
市内イベント・観光資源のPR、イベント開催団体・観光関係団体の支援を行う。また、魚津駅前を中心とした飲食店と宿泊施設の連携による、食の魅力のPRと観光客の誘客を行う。（地域おこし協力隊等の活用）

【主な取組及び成果】
・テレビや新聞・雑誌等への広告掲載、TV取材等の協力
・観光ボランティア（登録者数24名）や蜃気楼研究会等の観光関連団体の支援等を実施
・じゃんとこい魚津まつり実施連携及び補助金交付
・よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり、イルミラージュUOZU、魚津の朝市のイベントに対する補助金交付
・いいやま菜の花まつり、いばら桜フェスタ、大垣まつり等に出展し、観光宣伝を実施
・飲食店デジタルマップを活用し、市内飲食店の情報発信
・観光パンフレット（着地型観光パンフレットUO!NAVI）増刷20,000部
・蜃気楼出現週間予測の提供
・イメージキャラクターの活用（ミラたん着ぐるみ貸出数14件、ミラたんデザイン使用申請許可数34件）

■数値目標（再掲）　観光入込数　［基準値：1,536 千人（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	1,557	1,536	1,567	1,598	1,630	
実績	923	1,235	1,289	1,315	1,384	未達成

■ＫＰＩ（再掲）　観光消費額　［基準値：73.0億円（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	74.2	73.0	77.0	81.0	85.0	
実績	43.5	58.1	62.3	70.6	72.0	未達成

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	インバウンド推進事業	事業費（千円）	8,600

【事業概要】
訪日外国人旅行者の誘客のため、台湾をはじめとする海外への広告宣伝、情報発信を行う。

【主な取組及び成果】
・台湾との交流・提携事業
2025年新北市板橋区サマーカーニバルへ参加（物販・観光PR）
新北市政府教育局と魚津市教育委員会とが教育分野の協力に関する覚書（MOU）を締結
新北市板橋区と魚津市とが観光交流に関する覚書（MOU）を締結
〇〇魚津出展（紹介パネル・瓶釣りゲーム体験、飲食ブース）
新北ランタンフェスティバル参加（たてもんオブジェ展示）
魚津高校と板橋高級中学（高校２年生同士）とのオンライン交流 等
・台湾向けホームページ管理
・多言語観光パンフレット（英語版）を増刷
・台湾・香港向け訪日旅行情報ウェブサイトへの繁体字での観光情報掲載（R1～継続）
リターゲティング広告配信の実施

■ＫＰＩ（再掲）　外国人延べ宿泊者数　［基準値：13,503人（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	22,000	5,000	13,500	14,000	14,500	
実績	1,113	739	6,314	11,173	13,585	未達成

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	受入体制整備事業	事業費（千円）	13,346

【事業概要】
観光振興計画策定・進行管理、観光施設の維持管理を行う。また、地域おこし協力隊を活用し、観光案内所の運営を行うとともに、ターゲットに応じた効果的なプロモーション等を行い、受入体制の強化と誘客促進を行う。

【主な取組及び成果】
・第３次魚津市観光振興計画の進捗管理（推進協議会１回、庁内検討会１回）
・蜃気楼展望地での観光案内説明員設置、清掃委託
・魚津市観光協会、魚津駅観光案内所（利用者13,642人）運営補助
・外国語観光サインの整備（改修２か所）
・魚津観光まちづくり株式会社が実施する「魚津市内観光周遊アクティビティ化推進事業」において、ＥＶトゥクトゥクの購入に係る支援を行う
・魚津観光まちづくり株式会社が、候補DMOに認定され、市民へのDMOの周知の一環としてセミナーを開催
・観光プロモーション事業では、観光案内公式サイトに掲載されている体験コンテンツ及び紅ズワイガニに関するショート動画を制作し、SNSでの広告配信をした。

■ＫＰＩ（再掲）　観光満足度　［基準値：63.7%（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	64.5	64.8	65.2	65.6	68.0	
実績	71.4	50.7	52.2	56.6	65.1	未達成

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	広域観光連携事業	事業費（千円）	4,874

【事業概要】
近隣自治体等と連携した観光PRの実施と、圏域内の受入体制の整備を行う。（【「立山黒部」世界ブランド化推進事業】、【多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業】、【能登半島地震からのとやま観光復興プロジェクト～持続可能性を高め、自然や歴史、伝統などかけがえのない滞在価値を未来へ～】参画）

【主な取組及び成果】
・にいかわ観光圏協議会事業への参画（R7.6.30定時社員総会、負担金拠出、国内外でのプロモーション活動（1/25～26イオンモール松本出向宣伝、9/16～20台湾セールスコール15社、11/11～15シンガポールセールスコール15社）、情報発信）
・とやま観光推進機構との連携事業（負担金拠出、日本版DMOとしての活動・新旅行造成市町村タイアップ事業の実施）
・立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会、北陸国際観光テーマ地区協議会、美しい富山湾クラブ、山・鉾・屋台行事観光推進ネットワークに参画・協力
・富山湾岸サイクリング2025（開催日：R7.4.20、メイン会場：射水市）

■数値目標（再掲）　延べ宿泊者数　［基準値：310 千人（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	395	295	301	307	314	
実績	190	219	227	263	267	未達成

■ＫＰＩ（再掲）　新川地域宿泊者数　［基準値：704千人（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	845	702	712	722	733	
実績	395	529	600	653	657	未達成

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	自然と人と食・文化、多様な魅力を融合した『地域で稼ぐ』新観光ビジョン推進事業	事業費（千円）	－

【事業概要】
　魚津市の自然・食・文化の魅力を活かして、本市でしか体験できない体験プログラムや旅行商品の企画開発を行うとともに、“観光地として選ばれる”地域づくりを進める。
　　魚津市が一体となった戦略的な観光推進体制を構築することで、魚津ファンの獲得等による持続可能な観光地経営を図り、新しいひとの流れによる地域経済の活性化を目指す。

【主な取組及び成果】
　令和６年度で事業終了

事業名	観光地域づくり法人支援事業	事業費（千円）	－

【事業概要】
　コロナ禍からの駅前等の賑わいの減少や、観光客の伸び悩みなどの課題に対応するため、まちづくりと観光振興の舵取り役として設立する「魚津観光まちづくり株式会社」の運営等の支援を行う。また、情報発信・マーケティングの強化、魚津ならではの魅力ある体験プログラムや旅行商品の企画造成等を行い、観光産業の高付加価値化及び域内消費の拡大を図る。そして持続可能な観光地経営を行い、地域全体の経済効果の最大化を目指す。（地域おこし協力隊等の活用）

【主な取組及び成果】
　基本目標１　まちづくり会社支援事業と同内容

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	まちなか公園魅力向上事業	事業費（千円）	0

【事業概要】
　公園毎の将来像や取組方針を定めたプランを作成するため、ワークショップの開催や利活用実証実験を行う。作成したプランに基づき施設整備を実施する。

【主な取組及び成果】
道下地区では「パークマネジメントプラン」に基づき、北鬼江1号公園のコンセプトの検討や公園施設の配置など、地域と協議を重ねながら特色ある公園の実施設計に取り組んだ。

事業名	公園整備事業	事業費（千円）	40,677

【事業概要】
　安全で安心して利用できる公園を維持するため、施設の修繕及び更新工事を実施する。

【主な取組及び成果】
・公園施設長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して魚津総合公園の施設改修を実施し、あわせて長寿命化計画の定期的な見直しを行った。
・パークマネジメントプランに基づき、道下地区では北鬼江２号公園のトイレ整備及び北鬼江１号公園の設計にも着手し地域と協議を進めながら特色ある公園づくりへ向けた公園機能再編事業を実施した。

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	総合公園賑わい創出事業	事業費（千円）	67,745

【事業概要】
　みらパークの賑わいが増加することを目的に、子育て世代から高齢者までの広い世代を対象としたイベントの定期開催や子どもの遊び場などの環境整備を行う。

【主な取組及び成果】
・みらパーク（魚津総合公園）において、賑わい創出パートナー事業者が日常・特別イベントを79回開催し、約8,400人の参加があった。
・指定管理者への委託業務による管理・運営状況を確認。
・施設の老朽化により計画的に修繕を行った。パークゴルフ場ティーグラウンド修繕工事、バーベキュー場座卓修繕工事等を実施。

事業名	魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり事業	事業費（千円）	228,100

【事業概要】
　賑わいある魅力的なまちづくりを推進するため、都市施設の整備等を実施する。

【主な取組及び成果】
・令和２年度に策定した立地適正化計画及び魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり基本構想に基づき、令和７年度は、魚津駅、電鉄魚津駅周辺に関するまちづくりワークショップでご意見をいただきながら、魚津駅東広場内の歩道整備工事と歩道照明灯設置工事、魚津駅地下道線の電気設備工事と再整備工事を行った。

事業名	居住誘導促進事業	事業費（千円）	10,934

【事業概要】
　まちなかへの居住を促進するため、居住誘導区域内での住宅取得に対する支援や居住誘導区域内での住宅団地造成に対する支援を行う。

【主な取組及び成果】
　居住誘導区域内での住宅取得者（７世帯）に対し、住宅取得に要する費用の一部の支援を行った。
　また、居住誘導区域内で住宅団地の造成を行った２事業者に対して支援を行った。

■ＫＰＩ（再掲）　居住誘導区域内の居住人口密度　［基準値：34人／ha（H27）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	34	34	34	34	34	
実績	34	34	32	31	32	未達成

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

事業名	耐震改修促進事業	事業費（千円）	1,650

【事業概要】
　木造住宅の耐震改修を促進するため、魚津市内に存する住宅の所有者が行う木造住宅耐震改修に要する経費を支援する。

【主な取組及び成果】
・市広報において制度の案内やリーフレット設置を行った。（４回/年）
・住宅密集地の旧耐震住宅の所有者に対して、戸別にリーフレット配布とともに補助制度の周知を行った。
・固定資産税納税通知書に、制度案内を同封し発送した。

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

令和７年度（第２期戦略の最終年度）における主な事業

事業名	防災情報配信事業	事業費（千円）	19,617

【事業概要】
　気象警報や防災に関する緊急情報等について、防災行政無線やメール配信、Yahoo!防災アプリ、CATV、SNS等により、正確・迅速に伝達できる体制を整備する。

【主な取組及び成果】
・防災行政無線や緊急情報配信サービス（すぐメールｐｌｕｓ、すぐ参集）、Yahoo!防災アプリやケーブルテレビのデータ放送等で、気象防災情報、火災情報等を配信した。
・確実な情報伝達のため、機器の修繕と保守点検業務を行った。
・全国一斉Ｊアラート伝達訓練により機器の起動確認等を行うとともに、シェイクアウト訓練等を実施した。
・固定電話への災害時緊急情報配信サービスを新たに開始した。
・全国瞬時警報システム（Jアラート）受信機及び自動起動装置を更新した。

事業名	交通安全施設維持整備事業	事業費（千円）	3,352

【事業概要】
　通学路や生活道路における安全・安心を確保するため、交通安全施設の新設・維持管理を行う。

【主な取組及び成果】
≪事務事業の内容≫
交通街路灯、カーブミラー、区画線等の維持管理及び新設
　防災安全課管理の交通街路灯については、老朽化した灯具の修繕・更新に併せ、ＬＥＤ照明化を行った。今後、全灯ＬＥＤ化を目指していく。
　カーブミラーは地区住民からの要望に応じ新設や角度調整、支柱が劣化したものは交換を行った。

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

事業名	防犯カメラ維持事業	事業費（千円）	1,496

【事業概要】
　市内に設置してある防犯カメラに不具合が生じていることから、点検修理を行い、歩行者等の安全・安心の確保につなげる。

【主な取組及び成果】
≪事務事業の内容≫
　魚津駅南側駐輪場、経田漁港の防犯カメラの修繕を行った。また、その他の防犯カメラ１０基の点検を行った。

事業名	保育料無償化事業	事業費（千円）	98,648

【事業概要】
　１歳児以上のすべての児童及び第２子以降の０歳児を対象に保育料・副食費を無償化することで、子育て世帯の経済的負担軽減を図り、子どもを産み育てやすい環境づくりを目指す。

【主な取組及び成果】
１歳児以上のすべての児童の保育料・副食費及び第２子以降の０歳児の保育料を無償化することで、子育て世帯の経済的負担を軽減した。

事業名	妊産婦健康診査事業	事業費（千円）	22,325

【事業概要】
　安心して生み育てられるよう、妊娠中・出産後における健康診査事業を推進する。

【主な取組及び成果】
妊娠届出時に妊婦一般健康診査受診票（14回分）、妊婦歯科健康診査受診票（H27～）、妊婦精密健康診査受診申請書、産婦一般健康診査受診申請書、H30年7月以降出産された方を対象に産婦健康診査票（2回分）を交付し受診した。必要な方には、申請に基づき妊婦精密健康診査受診票、産婦一般健康診査受診票を交付し、受診していただいた。

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

事業名	子育て支援コーディネーター設置事業	事業費（千円）	5,935

【事業概要】
　コーディネーターを配置し、子育て家庭の個別ニーズを把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用にあたっての情報収集・提供、相談、助言等を行う。

【主な取組及び成果】
こども課窓口において、子育てに関する相談に対応するとともに、子育て支援センターや児童センター、地区の育児サロン等にも出向き、様々な子育てに関する相談に対応した。妊娠時から保育所等への入所手続きに関する情報がほしいとの要望を受け、毎月第４火曜日には、子育て支援センターにて「園に関する相談日」を設けた。
市のホームページ上でも活動内容を紹介している。

事業名	こども家庭センター母子保健事業	事業費（千円）	2,099

【事業概要】
　専任の助産師・看護師を配置することで、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援の充実を図る。

【主な取組及び成果】
助産師・看護師（専任）や保健師・管理栄養士（兼任）等により、妊娠・出産・子育て期を通じた母子保健や育児の総合的な相談支援を行った。
具体的には、妊娠期における相談会を実施。発達の相談や支援が必要な親子を対象に、幼児発達支援教室「あそびーば」を実施。
毎月１回のカンファレンスでは、児童福祉部門と情報交換や共有を図った。
母子手帳アプリ「母子モ」の導入により、妊娠届出や出生連絡票の電子申請が可能となった。

■ＫＰＩ（再掲）　子育て世代包括支援センター相談件数　［基準値：2,314件（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	
実績	1,724	1,202	1,348	1,298	1,060	未達成

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

事業名	不妊治療費助成事業	事業費（千円）	11,100

【事業概要】
不妊治療を受けている夫婦に対し、保険診療に係る自己負担額全額及び先進医療の負担額の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図る。

【主な取組及び成果】
不妊治療費に対しては、R4.4からの保険適用に際し制度を再構築し、保険診療にかかる自己負担分の費用を助成した。
不育症は適切な検査と治療で患者の８割が出産に至るとされており、不妊治療費助成と併せて実施した。
不育症治療費について、H29.4月より県から市への補助制度が開始。（検査とヘパリン治療のみ）
R6.4～の不妊治療での先進医療の導入、県のすすめるプレ妊活健診を導入した。

事業名	こども・妊産婦医療費助成事業	事業費（千円）	128,516

【事業概要】
18歳までの児童の医療費助成や妊産婦の指定症状に係る医療費助成を行う。

【主な取組及び成果】
こども医療費については、入院・通院ともに、高校３年生までを対象とし、55,451件：120,918,860円助成するとともに、妊産婦医療費を、417件：3,605,081円助成した（所得制限なし）。

事業名	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）	事業費（千円）	0

【事業概要】
保護者の疾病や仕事等の事由により、子どもの養育が一時的に困難となった場合に児童養護施設等で一定期間子どもを預かる事業

【主な取組及び成果】
令和７年度、実績なし。

■ＫＰＩ（再掲）　子育て短期支援事業(ショートステイ事業）利用者数　[基準値：令和 4 年度（新規事業）単位（人）]

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	1	1	1	1	1	
実績	-	0	0	1	0	未達成

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

事業名	こども家庭センター事業	事業費（千円）	6,862

【事業概要】
　従来の「子育て世代包括支援センター（母子保健機能）」と「子ども家庭総合支援拠点（児童福祉機能）」が一体となり、それぞれの家庭の事情や状況に応じて、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施する。

【主な取組及び成果】
《こども相談事業》
・相談員等が相談業務、助言指導を行い、必要に応じて専門機関へ繋いだ。
・こども食堂応援事業(新規申請2件)
・オムツ配達便事業。市と包括連携協定を締結しているとやま生活協同組合の支援により出産後オムツを2回配達し、新生児の健やかな育ちを支援した。
・夫婦応援事業。子育て中の夫婦の時間を確保できる取組への補助金給付。（申請2件）
・児童クラブの単位児童クラブ加入者の保険・取扱事務
・子育て短期支援事業
・産前産後ヘルパー派遣事業
・子育てガイドブック作成

《要保護児童対策事業》
・要保護児童対策地域協議会における代表者会議１回(2/19)、実務者会議３回（7/8、11/4、3/9）、ケース検討会議23回の実施、各関係機関との連絡調整。
・要保護、要支援児童とその家庭の相談、支援、指導業務、虐待通報への対応。
・児童虐待防止対策事業の実施（主任児童委員・関係職員研修の実施、市広報虐待防止月間記事の掲載等）
《こども家庭センター事業》
・R7年度こども家庭センターを設置し、切れ目のない子育て支援を推進。
・支援が必要な妊産婦や子育て家庭への支援（サポートプランの作成）
・子育て世帯訪問支援事業
・ヤングケアラー実態調査

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

事業名	地域子育て活動支援事業	事業費（千円）	15,581

【事業概要】
地域の子育て家庭が遊びに来たり相談したりする場を児童センターや認定こども園で提供する。

【主な取組及び成果】
未就園児とその保護者を対象に遊びの場を提供し、子育て等に関する相談援助を行った。

事業名	地域子育て支援センター事業	事業費（千円）	8,172

【事業概要】
専任の子育てアドバイザーを配置し、子育て中の親子が気軽に集い、子育ての不安・悩みが相談できる環境の充実を図る。

【主な取組及び成果】
「子育て支援センターのびのび」の運営。
のびのび広場、赤ちゃん広場等で、未就園児とその家族に遊びと交流の場を提供し、アドバイザーが育児相談を行った。
平成29年度から母子保健推進員と協力し、育児に奮闘している母親等のリフレッシュできる場や手作りおもちゃを提供。
平成30年度よりこども課との連携により、こども課所属の子育てコーディネータ２名が週２回＋月１回、子育て相談や園に関する相談に応じている。
R3年度からは新型コロナ感染症拡大防止の消毒作業のため開所時間を30分短縮して実施した。

■ＫＰＩ（再掲）　子育て支援センターの延べ利用者数　［基準値：10,906人（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	
実績	7,453	4,958	6,630	6,372	7,426	未達成

事業名	プログラミング教育推進事業	事業費（千円）	1,981

【事業概要】
プログラミング教育を推進するため、プログラミングクラブの実施等を行う。

【主な取組及び成果】
児童の論理的な思考力や問題解決能力の育成を目的に、以下プログラミング教育を実施した。
キッズプログラミングスクール（ドローン大会含む）開催
キッズプログラミングクラブ開催（4-6年生対象）
紅ズワイガニロボコン開催

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

事業名	社会に学ぶ14歳の挑戦事業	事業費（千円）	913

【事業概要】
　中学２年生が学校外での職業体験を行い、働くことの意義や喜びに触れ、周りに感謝する心を養う。

【主な取組及び成果】
魚津市「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業推進委員会を組織し、企画・立案等を行った。学校では、生徒の希望・保護者の願いを踏まえて、受入れ事業所等の確保（調査・調整）に当たり、事業所の指導ボランティアと十分な連携の下、７月に原則５日間の職業体験活動を実施した。生徒は、働くことの意義や大変さを感じるとともに、地域の企業や施設が地域社会に大きく貢献していることを知り、地域への理解や感謝する心を深めることができた。

事業名	ふるさとキャリア教育推進事業	事業費（千円）	2,884

【事業概要】
　ふるさとに誇りと愛着をもち、心豊かに生きる子どもの育成を目指すため、小学１年生から中学３年生まで学年別のテーマに基づき、魚津の自然、歴史・文化、産業、人に触れ、学び、体験する。

【主な取組及び成果】
魚津市ふるさと教育スタンダードプランに基づき、水族博物館、埋没林博物館等と連携し、ふるさと発見バス事業、地場産業体験推進事業を実施した。
１年…まちを知る（水族博物館、ミラージュランド等）
２年…まちを知る(図書館、給食センター、ありそドーム等)
３年…地場産業を体験する（市内民間事業者による６つのメニュー）
４年…水循環を学ぶ(浄化センター、高円堂用水等)
５年…三大奇観を学ぶ(埋没林博物館にて三大奇観の講義)
６年…歴史を学ぶ（歴史民俗博物館、先人ﾐｭｰｼﾞｱﾑ等）
中１年…キャリア教育講演会
中２年…社会に学ぶ１４歳の挑戦

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

事業名	小中学校教育振興・情報化事業	事業費（千円）	186,030

【事業概要】
１人１台端末環境の円滑な運用を支え、子供の学びを確保するための「運用面の支援」を行い、安定的な支援基盤の構築を目指す。

【主な取組及び成果】
《小学校教育振興・情報化事業》
○理科教育振興法に基づき、小学校の理科備品を整備した。
理科備品：635,200円
○児童生徒用ＧＩＧＡタブレットの更新を行った。
児童用タブレット購入費：91,336,960円
○クラウド型校務支援システム及び授業支援ソフトを導入した。
校務支援システム（年間契約）:3,771,500円
授業支援ソフト（年間契約）：1,600,000円
○長期継続契約
電子黒板リース（R2導入）：4,173,840円
高速印刷機リース（R3導入）：2,508,000円
情報化基盤システムリース（R5導入）：8,476,080円
教育用PCリース（R7導入）：2,759,330円
《中学校教育振興・情報化事業》
○理科教育振興法に基づき、中学校の理科備品を整備した。
理科備品：338,600円
○児童生徒用ＧＩＧＡタブレットの更新を行った。
生徒用タブレット購入費：49,895,010円
○クラウド型校務支援システム及び授業支援ソフトを導入した。
校務支援システム（年間契約）:1,745,000円
授業支援ソフト（年間契約）：765,000円
○長期継続契約
高速印刷機リース（R3導入）：1,003,200円
情報化基盤システムリース（R5導入）：3,390,456円
教育用PCリース（R7導入）：1,663,550円

■ＫＰＩ（再掲）　ICT 機器の活用率　［基準値：小学校55.2%（R元）、中学校79.2%（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標（小）	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	
実績（小）	86.8	93.5	97.4	98.7	95.5	**達成**
目標（中）	97.0	92.0	93.0	94.0	95.0	
実績（中）	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0	**達成**

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

事業名	橋梁改修事業	事業費（千円）	74,000

【事業概要】
橋梁の耐震化・長寿命化整備を行う。

【主な取組及び成果】
市道坪野北山線（2-65橋）架替工事に伴う仮橋設置工事の発注、監督
市道坪野北山線（2-65橋）橋梁架替工事の発注、監督
橋梁補修設計 健全性判定Ⅲの橋（新川宮津橋）について委託発注、監督
橋梁定期点検業務の委託発注、監督

事業名	雨水幹線整備事業	事業費（千円）	33,209

【事業概要】
まちなかにおける雨水浸水被害を防止するため、雨水幹線の整備を行う。

【主な取組及び成果】
雨水管渠基本設計業務 １件
ストックマネジメント計画管路施設調査業務委託 １件
上記業務に伴う関係機関や地元関係者等との打合せを実施

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

令和７年度（第２期戦略の最終年度）における主な事業

事業名	市民参画・協働推進事業	事業費（千円）	142

【事業概要】
市民参画・協働推進のため、自治基本条例や市民参画・協働指針の見直しをはじめ、まちづくりフォーラムを開催する。

【主な取組及び成果】
《うおづまちづくりふれあい講座事業》
まちづくりふれあい講座について、市広報やＮＩＣＥ－ＴＶによる広報を行い、市民に周知を行った。また、サンプラザ「見てかれ間」へのチラシ配布を行うなど、周知を行った。令和7年度は「魚津市の防災対策」等の講座を28回開催し、510人が受講した。
《市民協働推進事業》
まちづくりフォーラムを令和８年2月15日（日）に開催し、市民と市が協働して公共的課題の解決に取り組む必要性と地域コミュニティの推進を市民に周知・啓発した。
令和７年度は、魚津観光まちづくり株式会社近藤事業統括マネージャーによる基調講演、地域振興会や高校生、地域おこし協力隊等による活動発表、各地域及び高校・大学校等の活動内容を紹介するパネル展示、地域特産物の物販や各種ワークショップを行い、約300名の参加があった。
また、公共施設やショッピングセンター等市内４ヶ所でパネル展示を行った。

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	地域振興事業	事業費（千円）	83,553

【事業概要】
　地域振興会の自主的なまちづくりやまちづくりを行う団体等の活動に対する支援を行う。

【主な取組及び成果】
《まちづくり交付金事業（地域振興事業）》
まちづくり交付金について、センター長の手当を増額した。さらに、令和６年度に引き続き、地域課題解決や地域活性化に資する新規性のある事業に活用できる「上乗せ応援加算枠」（１地区あたり最大500千円の交付金を加算）を交付した。
また、（一財）自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、自治会等が必要とする備品の整備等の助成を行った。
なお、まちづくりフォーラムや市HP上で、地域振興事業の様々な事例を紹介し、地域の特色ある事業や、新たな地域資源を活用する事業、地域の課題解決に向けての事業に有効に使われるよう働きかけを行った。
このほか、自治会合併の基本的な流れを整理した「自治会合併の手引き」を作成し、令和８年３月末に自治会等の長に配布し周知を行った。
《住民自治・市民協働推進事業》
市広報を自治会長宅へ配送するため、随時折込業者や配送業者と打合せを行い、円滑な配送を行った。

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	コミュニティセンター施設整備事業	事業費（千円）	68,353

【事業概要】
老朽化が著しい上野方、松倉、上中島、大町の各地区コミュニティセンターを建替え又は移転集約することにより、地域活動の充実及び地域の活性化の拠点を整備する。

【主な取組及び成果】
〇上野方コミュニティセンター、地域福祉拠点施設、消防団詰所の複合施設として（仮称）上野方地域複合施設の建築工事に着手した。
〇松倉コミュニティセンター整備事業として、設計業者をプロポーザル方式にて選定し、業務委託契約を締結した。
〇上野方・松倉・大町地区にてコミュニティセンター整備事業にかかる地元検討会や説明会を随時実施した（上野方3回、松倉6回、大町3回）
〇上中島コミュニティセンターは、同地区内のもくもくホールへ移転統合を実施した。

事業名	水と緑の森づくり事業	事業費（千円）	5,236

【事業概要】
地域や生活に密着した里山を再生するため、市民協働等による里山林整備を推進する。

【主な取組及び成果】
〇富山県、地権者、魚津市の３者において、里山再生整備事業の実施に関する協定書を、６～９月にかけて締結した。
〇協定を締結した森林について里山の再生整備を、７～３月にかけて行った。
〇県民参加の森づくり事業について、各地区代表者と契約を交わし、10地区において草刈業務委託を実施した。

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	片貝川流域水循環遺産活用事業	事業費（千円）	299

【事業概要】
　片貝川流域の水循環遺産を活用した観光・環境教育・健康づくり等を推進する。

【主な取組及び成果】
企画広報室、市民環境課、農林水産課にて事業を実施
【企画広報室】
市道南又線一般車両通行開放
市道南又線・洞杉周辺整備工事
【市民環境課】
沌滝周辺整備
【農林水産課】
高円堂用水周辺整備事業

事業名	魚津の水循環周知啓発事業	事業費（千円）	2,893

【事業概要】
　水の学び舎ツアーや森の遊び場事業を実施することにより、「魚津の水循環」を周知するとともに水と緑の保全のための啓発を行う。

【主な取組及び成果】
・水の学び舎事業：市民向けツアーの実施。５月～２月まで計７回開催し、のべ88名の参加があった。内、１回は親子向けツアーを開催した。
・魚津の水循環のＰＲにつなげるため、「うおづのうまい水」を東京や大阪の物産館等で販売を行った。
・「うおづのうまい水」のＰＲ・販売促進のため、市内開催イベント等にて「うおづのうまい水」の無償提供を行った。
・東山円筒分水槽公園（ポケットパーク）の芝生等の維持管理に努めた。

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	ゼロカーボンシティ推進事業	事業費（千円）	103,910

【事業概要】
　ゼロカーボンシティの実現に向け、温室効果ガス排出量の削減や、再生可能エネルギーの導入に向けた取組を行う。

【主な取組及び成果】
・環境省の交付金事業を活用した太陽光発電や省エネ機器導入に関する市民向け・事業所向け補助事業を実施し、市内の脱炭素化を進めた。

事業名	行政改革推進事業	事業費（千円）	105

【事業概要】
　持続可能な行財政運営に向けて、行財政改革大綱等を踏まえ、継続的に行財政改革に取り組む。

【主な取組及び成果】
〇魚津市行財政改革推進協議会において、魚津市行政改革集中プランの進捗状況の確認を行った。（R7.6月）
〇魚津市行財政改革推進委員会において、「第６次魚津市行財政改革大綱」及び「第６次定員管理計画」の取組結果を報告した。（R7.10月）

事業名	ＤＸ推進事業	事業費（千円）	21,698

【事業概要】
　デジタル技術の活用により、地域の諸課題解決に向けた事業を変革し、効率的で持続可能な行財政運営及びサービス提供の実現を図る。併せてデジタルデバイド対策を実施する。

【主な取組及び成果】
〇第２次魚津市ＤＸ推進計画を策定した。
〇デジタルデバイド対策としてスマホ教室を12回開催し、延べ155人の参加があった。
〇職員による「窓口利用体験調査」を実施し、自治体フロントヤード改革に努めた。
〇窓口業務のオンライン申請対応業務の増加、利用率の拡大に努めた。

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	住民基本台帳ネットワーク事業（個人番号カード関連事務）	事業費（千円）	19,528

【事業概要】
　マイナンバーカードを活用した、コンビニエンスストア等での証明書の交付サービスを実施する。

【主な取組及び成果】
・マイナンバーカードの交付、電子証明書の発行・更新、マイナンバーカードによる転入手続等
・LINEによる住民票の写し等の請求や転出届の手続き
・マイナンバーカード券面プリンタ１台追加
・CS端末１台追加
・マイナアシストによる交付申請受付開始

事業名	生涯学習活動振興事業	事業費（千円）	11,502

【事業概要】
　生涯学習推進のための各種教室・講座等を開催する。

【主な取組及び成果】
〇各地区地域振興会（コミュニティセンター）へ委託し、各地域に応じた公民講座や異世代交流などの各種生涯学習教室を開催した。
〇生涯学習教室友の会や地区コミュニティセンターで開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。
【開催日】令和８年３月15日【場所】新川学びの森天神山交流館
⇒来場者数600人
今回も（一社）にいかわ学びの森みらい会議主催の活性化イベント「What's学びの森」と同時開催し幅広い世代の参加者など相乗効果が得られた。

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	放課後子ども教室推進事業	事業費（千円）	1,395

【事業概要】
　放課後及び土曜日等にコミュニティセンターなどの施設を活用して、子どもたちの安心・安全な居場所づくりとして、地域住民等の参画により、学習や体験・交流活動の機会を提供する。

【主な取組及び成果】
〇放課後子ども教室は、片貝コミュニティセンターと星の杜小学校で２教室を開設。
星の杜小学校での教室は、放課後子ども総合プランによる放課後児童クラブとの一体型としての活動。
〇土曜教室は、各地区コミュニティセンターで13教室を開設

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	文化財保存活用事業（博物館収蔵品等デジタル化事業）	事業費（千円）	6,320

【事業概要】
　文化財指定に必要な測量調査や普及啓発事業、市内文化財の保存・活用・継承等にむけた指針、計画の策定や活動等を行う。併せて市内に残された文化財等のデジタルアーカイブ事業を推進する。

【主な取組及び成果】
・松倉城跡国指定関連事業として、指定範囲の同意取得事業を地元地区と協議しながら進めてきた。併せて国指定に伴う地元説明会を開催した。
・旧十二銀行魚津支店の建物調査報告会を実施（２月14日）。
・市指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助（補助団体：布施谷節保存会、鹿熊刀踊り保存会、せり込み蝶六保存会）
・国指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助（補助団体：たてもん保存会）。
・たてもん祭りが開催された。たてもん協力隊には200名の参加があった。

・山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク総会へ出席（岐阜県飛騨市）
・全国山城サミット白山大会総会等へ出席（石川県白山市）
＜レガシー事業＞
・R5年度よりたてもんの森周辺を会場に５～６歳の未就学児を対象とした自然体験教室を開催（R7/11/22）参加者：親子7組18名、ボランティアスタッフ等８名、合計25名
＜博物館収蔵品等デジタル化事業＞
・歴史民俗博物館収蔵品のデータベース化作業の実施。データベースの整理及び追加登録作業を行った。
・収蔵資料を一部公開するため、データベースとの照合による修正作業も併せて実施した。

■ＫＰＩ（再掲）　文化財保存活用事業への年間延べ参加者数　［基準値：1,289人（R元）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	900	1,290	1,310	1,330	1,350	
実績	901	926	1,045	1,112	1,098	未達成

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	成年後見制度利用促進事業	事業費（千円）	4,344

【事業概要】
　必要な人が成年後見制度を利用できるよう、中核機関（魚津市成年後見支援センター）において制度の広報や相談、人材育成等の利用促進事業を実施する。

【主な取組及び成果】
・「市民後見人養成講座」開催業務を市社会福祉協議会に委託している。黒部市、入善町、朝日町、滑川市と共同開催し、25名の受講があった。
・「成年後見セミナー」を１回実施した（受講者28名）。
・「成年後見・権利擁護推進協議会」を開催した。

■ＫＰＩ（再掲）　成年後見制度利用者数　［基準値：56件（R2.11月）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	58	60	62	64	90	
実績	71	80	88	81	92	**達成**

事業名	重層的支援体制整備事業	事業費（千円）	20,773

【事業概要】
　複雑化、複合化した支援ニーズや制度の狭間にある地域課題に対応するため、専門職による寄り添い型の支援や地域の多様なつながりや支え合いが生まれやすくなるような環境整備を図り、包括的な支援体制を目指す。

【主な取組及び成果】
令和7年度から本格実施。
①多機関協働にて相談受付を開始し、随時重層的支援会議や支援会議にて支援調整を図った。
②連携会議を開催し、事業実施計画の評価項目を追加し計画改定をした。
③相談支援、参加支援、地域づくりの事業を一体的に実施していくため、庁内関係課等を対象とした連絡会議を2回開催し関係者の共通理解を図った。
第1回は「相談支援について」、第2回は「地域づくりについて」をテーマに具体的方策について検討を行った。
④属性を問わない居場所づくりとして「コミュニティカフェ」が試行的に開始された。（社協委託）

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	健康づくり推進事業	事業費（千円）	1,434

【事業概要】
　健康意識の向上を図るため、栄養・運動・健診の分野において普及啓発を進める。

【主な取組及び成果】
健康教育では、健康づくりイベントや地区講座、体内の推定野菜摂取量を数値化するベジチェック測定等を通じて、市民の健康意識の高揚をはかった。
健康相談では、一人一人の健康問題や疑問が解決するようアドバイスを行った。
ミラたん健康ポイント事業は、協賛事業所を増やし、LINEの活用による働く世代へのPRを重点的に実施した。
CATVでは、UOっとっと！と題して隔月で筋トレや体操を放映した。
保健衛生推進員には、様々な健康づくりを普及啓発する人材として活躍できるよう各地区で講座を行った。
「魚津市健康づくりウォーキング」は、目的や実施方法を簡素化し、ほぼ全地区で開催された。
第３次健康増進プラン策定にむけ、会議や作業等実施し、予定通り策定した。

■数値目標（再掲）　健康寿命　［基準値：男性 79.33歳（H29）、女性 84.63 歳（H29）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加					
男性	79.14	79.70	79.29	R9.2頃	R10.2頃	未算出
女性	84.08	83.56	83.11	R9.2頃	R10.2頃	未算出

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

事業名	保健・介護予防の一体的実施事業	事業費（千円）	3,963

【事業概要】
　生涯を通じた健康づくりの普及のために、高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に推進する。

【主な取組及び成果】
高齢者に対するハイリスクアプローチを実施
・低栄養予防訪問・教室
・身体的フレイル予防訪問・教室
・重症化予防訪問（糖尿病性腎症・高血圧症）
・ポリファーマシー（多剤服薬による有害事象が生じている状態）対策訪問指導
・健康状態不明者等の訪問指導
高齢者に対するポピュレーションアプローチ（通いの場や地域全体を対象とした働きかけ）を実施
・通いの場、商業施設におけるフレイル予防等に関する健康教育、健康相談、フレイル状態の把握等の実施

■数値目標（再掲）　健康寿命　［基準値：男性 79.33歳（H29）、女性 84.63 歳（H29）］

	R3	R4	R5	R6	R7	R7の状況
目標	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加					
男性	79.14	79.70	79.29	R9.2頃	R10.2頃	未算出
女性	84.08	83.56	83.11	R9.2頃	R10.2頃	未算出

事業名	地域自殺対策事業	事業費（千円）	275

【事業概要】
　いのち支えるネットワーク会議を開催し、医療、保健、福祉、教育、労働等の様々な関係機関とのネットワークづくりを図る。
　　ゲートキーパー養成講座を開催し、地域における担い手・支え手の人材育成を図る。

【主な取組及び成果】
①ゲートキーパー養成講座を教職員を対象に１回開催した（参加者数計40人）。
②自殺予防普及啓発活動として、R7.9月、R8.3月に啓発用ティッシュを配置した。またR7.9月に図書館で自殺予防に関する展示に併せ、関連図書コーナーも設置した。
③うおづこころの相談窓口にて、実12人（延14件）の相談を受けた。
④ネットワーク会議を書面開催し、いのち支える魚津市自殺対策行動計画の進捗状況を確認した。

【デジタルの力】デジタル実装を可能とする基礎条件整備
（他の事業は基本目標１～４に掲載）

令和７年度（第２期戦略の最終年度）における主な事業

事業名	デジタル人材派遣事業	事業費（千円）	0

【事業概要】
　国のデジタル人材派遣事業等を活用し、DX推進や窓口業務改善に対する助言を取り入れることで、より市民の利便性向上と行政の効率化を図る。

【主な取組及び成果】
デジタル庁の窓口ＢＰＲ派遣事業を活用し、デジタル庁の派遣人材を派遣いただき、職員による窓口体験調査事業等を実施した。

○地方創生関係交付金事業

【県広域事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業
事業期間	Ｒ３年度～Ｒ７年度

※（公社）とやま観光推進機構「マーケティング戦略委員会」で事業結果の検証を行う

【事業費】※魚津市負担分　　（千円）

年度	R3	R4	R5	R6	R7	期間計
事業費	2,895	3,999	4,770	1,155	674	13,493
うち交付金	1,447	1,999	2,385	577	337	6,745

【事業概要】

●アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり
●北陸新幹線の敦賀開業を見据えた戦略的プロモーションの展開
●「日台観光サミット」の成果を活かした国際観光の推進
●富山湾の世界的ブランドの強化・高付加価値化による誘客促進
●文化振興拠点の魅力向上

○令和７年度魚津市の事業実施内容
　日本版DMO活動事業分担金　674,000円

【ＫＰＩ】

KPI		事業開始前	R3	R4	R5	R6	R7
観光消費額単価（宿泊・日帰り）（円／人回）	目標値	－	9,120	9,360	9,600	10,795	11,990
	実績値	8,880	11,075	10,838	12,984	13,468	14,010
観光入込客数（実数）（千人）	目標値	－	11,069	11,104	11,134	12,429	13,724
	実績値	11,039	10,737	13,926	14,094	13,476	13,676
日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数（人）	目標値	－	22,500	30,000	35,000	37,500	40,000
	実績値	15,000	13,732	14,992	14,153	14,440	15,828
県立美術館等の年間来館者数（人）	目標値	－	420,000	470,000	570,000	720,000	920,000
	実績値	400,000	559,457	759,257	1,029,637	703,082	741,663

資料3

魚津市の人口減少対策に関する意見交換

本日のねらい
令和8年度から「第3期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートしました。人口減少は行政だけでは解決できない課題です。各分野の現場で感じていることや、皆さまの団体と市が連携してできることについて、率直なご意見をお聞かせください。

皆さまに伺いたい3つの問い

問1

皆さまの分野・現場では、人口減少の影響をどのように感じていますか。
（例）人手不足、事業の担い手、利用者・顧客の変化、若者の動き　など

問2

若者・女性・子育て世帯に「選ばれるまち」になるために、魚津市に足りないものは何だと思いますか。
（例）仕事、住まい、子育て環境、交通、楽しみ・にぎわい　など

問3

皆さまの団体と市が連携して、第3期戦略の中で一緒に取り組めることは何ですか。
（例）既に取り組んでいること、市と組めばできそうなこと、市に期待すること

※問2・問3については、59ページの「テーマ別の参考資料」もあわせてご覧ください。事前に「意見記入シート」（61ページ）にご記入いただくと、当日の発言の参考になります。お考えの範囲で構いません。

資料3

データで見る魚津市の人口減少「5つの課題」

1 人口減少のペースが見通しを上回っている

年 約600人減

R7.10～R8.9の人口減少は608人（未確定）。人口ビジョンでは2030年に36,000人程度となる見通しを立てていたが、毎年600人減少すると34,448人程度となる見通し。

▸ 第3期戦略：観点1「緩和」／観点2「適応」

2 人口減少の約7割は「自然減」

出生数 173人

出生数はR1の229人からR6は173人へ。合計特殊出生率はR6に1.27。直近5年の人口減少のうち約7割が自然減（出生数－死亡数）。

▸ 第3期戦略：基本目標3　こどもを地域全体で育てる

3 若い女性の県外への転出

15～24歳女性 △97人

R7.10～R8.8の社会減200人のうち、15～24歳の女性の県外への転出超過が97人とほぼ半数。高校卒業・進学・就職期の流出が続く。

▸ 第3期戦略：基本目標1　若者や女性にも選ばれる働く場

4 30歳代の近隣市への転出

2市で △44人

30歳代の転出超過85人のうち、約半数が富山市（△25人）・滑川市（△19人）への転出（R7.10～R8.8）。人口ビジョンでは、子育て期の住宅取得に伴う転出の影響を指摘。

▸ 第3期戦略：基本目標2　新しいひとの流れ・住まい

5 転出の理由は「仕事」、住みやすさの評価は高い

仕事関係 55.3%

転出者の移動理由は「仕事関係」が最多。一方で自由意見では「とても住みやすく良いまちだった」が3年連続で最多。仕事と住まいの両面での受け皿づくりが鍵。

▸ 第3期戦略：基本目標1・2・4

資料：富山県人口移動調査（R8.9分は住民基本台帳）、健康センター、市民課アンケート（R5～R7年度）、人口ビジョン（令和8年改訂版）

資料3

第3期総合戦略の全体像と主な数値目標

計画期間：令和8年度～令和12年度（5年間） ※数値目標は現状（R6年度）→目標（R12年度）

観点1　人口減少の進行の「緩和」
自然減・社会減の両面から、減少のスピードを緩める

観点2　人口減少社会への「適応」
少ない人口でも安心して暮らせる地域・経済をつくる

基本目標1　魅力あるしごとをつくりそだて、若者や女性にも働く場として選択されるまちにします

数値目標	現状（R6）	目標（R12）
新規創業者数	25者	25者
有効求人倍率	1.33倍	1.25倍
年齢階級別純移動数（15～19歳と25～29歳の比較）	12人	0人

基本目標2　にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

数値目標	現状（R6）	目標（R12）
県外からの移住者数	54人	70人
人口動態における社会増減数	△194人	±0人
観光消費額（暦年）	7,058百万円	9,458百万円

基本目標3　安心・安全な暮らしを守り、こどもを地域全体で育てるまちを目指します

数値目標	現状（R6）	目標（R12）
緊急情報を正確・迅速に伝達できる市民の割合	37.2%	100%
交通事故発生件数	38件	17件
今後も子育てをしていきたいと思う親の割合（3歳児健診時）	96.5%	100%

基本目標4　活力ある地域をつくり、デジタル技術の活用等により持続可能なふるさと魚津を目指します

数値目標	現状（R6）	目標（R12）
窓口での待ち時間の削減時間（累計）	80時間	480時間
市管理施設のCO2排出量	7,106t	5,428t
健康寿命	–	平均寿命の増加分を上回る増加

※全ての基本目標に「DXの推進」を施策として位置付けている。事業は59事業（第2期からの継続54、新規5）。
資料：第3期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和8年3月）

問2・問3をお考えいただく際の参考資料（テーマ別）

第3期戦略の4つの基本目標に沿って、現状と主な取組、ご意見をいただく際の視点の例を整理しました。
意見記入シートは、テーマごとではなく問1～問3に沿ってご記入ください。全てのテーマにご意見をいただく必要はありません。

基本目標1 働く場

現状 若い女性の県外流出が大きい。高校生アンケートでは、住み続けたい・戻りたいまちにするために「働きたい企業が増えること」が3割超

第3期の主な取組 創業・事業承継支援、企業誘致推進、若者等雇用促進、担い手育成推進

視点の例
- **若者・女性が「魚津で働きたい」と思う職場の条件は何か**
- **採用・定着や人手不足で困っていること、工夫していること**

基本目標2 ひとの流れ・住まい

現状 30歳代の富山市・滑川市への転出が多い。関係人口事業の県外参加者は318人（R6）

第3期の主な取組 定住・交流促進、子育て新婚世帯住宅取得支援、空家対策支援、観光地域づくり法人支援、関係人口創出・拡大

視点の例
- **住む場所として魚津が選ばれるために何が必要か**
- **住まなくても魚津に関わる人（関係人口）を増やすには**

基本目標3 結婚・出産・子育て

現状 出生数は173人（R6）。0～19歳・30～49歳の社会増減率が県内平均を下回り、子育て世代の転出が多い

第3期の主な取組 保育料無償化、こども家庭センター、不妊治療費助成、教育支援センター運営、ふるさとキャリア教育

視点の例
- **子育て世帯が「魚津で育てたい」と思う決め手は何か**
- **職場や地域で、子育てとの両立を支える工夫は**

基本目標4 人口減少への適応

現状 高齢化率は35.86%（R7国勢調査）で県平均を上回る。少ない人口でも暮らしやサービスを維持する工夫が必要

第3期の主な取組 DX推進、オンデマンド交通運行、地域拠点施設整備、重層的支援体制整備、健康づくり推進

視点の例
- **人口が減っても暮らしの質を保つために、各分野でどんな工夫・連携ができるか**
- **デジタル技術を地域や事業でどう生かせるか**

資料：第3期総合戦略（令和8年3月）、令和7年国勢調査、富山県人口移動調査

魚津市イメージキャラクター

「ミラたん」

資料3

意見記入シート

当日の発言の準備や、時間内に言い切れなかったご意見の提出にご活用ください。会議後の提出も歓迎します（提出先：企画広報室）。

お名前		ご所属	

問1　皆さまの分野・現場で感じている人口減少の影響

問2　若者・女性・子育て世帯に「選ばれるまち」になるために、魚津市に足りないもの

テーマに〇（任意）：働く場／ひとの流れ・住まい／結婚・出産・子育て／人口減少への適応

問3　皆さまの団体と市が連携して取り組めること（既に取り組んでいること、市に期待することも可）

テーマに〇（任意）：働く場／ひとの流れ・住まい／結婚・出産・子育て／人口減少への適応

その他（第2期戦略の振り返りへのご意見など、自由にご記入ください）